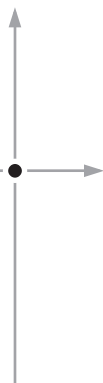


T2

INTELLIGENT DIGITAL DISK RECORDER

User Manual –ワークステーションモード編–



17 September, 2009



ご注意

- (1)本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2)本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3)本製品は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4)運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7)Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (8)DVCPRO HD は、パナソニック株式会社の商標です。
- (9)HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (10)その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本書では、T2 のシステムを意味する場合、ワークステーションと表記します。



警告



●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

T2
User Manual —ワークステーションモード編—
September 17, 2009
Copyright © 2009 Thomson Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

目 次

注意事項	7
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項：.....	7
Windows XP Embedded and Windows Embedded Standard Runtime.....	7
セットアップ	15
概 要.....	15
特 長.....	15
各部の名称と機能.....	16
フロントパネル.....	16
操作ボタン.....	17
リアパネル.....	18
アナログオーディオ入力部.....	19
R1入力部.....	19
P1/P2出力部.....	20
起動・終了.....	21
起 動.....	21
ワークステーションモードへの切り替え.....	22
終 了.....	22
本体の設定.....	23
システム設定.....	23
ハードウェア設定画面.....	23
ネットワーク-1/ネットワーク-2設定画面.....	24
言語設定画面.....	25
R1チャンネル設定.....	26
入力設定画面.....	26
タイムコード&リモート設定画面.....	27
P1/P2チャンネル設定.....	28
ビデオ設定画面.....	28
モニター&リモート設定画面.....	29
ProcAmp設定画面.....	30
GPI入出力設定.....	31
GPI入力設定画面.....	31
GPI出力設定画面.....	32
ジョグ/シャトル設定.....	33
ワークステーションモード	35
概 要.....	35
画面構成.....	35
メニューバー.....	36
システムメニュー.....	36
オプションメニュー.....	36
ヘルプメニュー.....	36
ステータスバー.....	37
Bin/Transfer表示部.....	38
Binフォルダ.....	38
ウォッチフォルダ作成画面.....	39
Searchキー項目.....	40
Binフォルダ右クリックメニュー.....	41

Recycle Bin – フォルダ右クリックメニュー	42
Recycle Bin – クリップ、プレイリスト右クリックメニュー	43
検索結果フォルダ右クリックメニュー	44
Transfer表示画面	45
コンテンツ表示部	48
アイコン表示	49
コンテンツの選択	49
コンテンツの操作	49
コンテンツのプレビュー	49
コンテンツのペアリング（同期設定）	50
クリップ、プレイリスト右クリックメニュー	51
チャンネル表示部	52
3ch Display	53
R1チャンネル	53
P1/P2チャンネル – ClipPlayer	54
P1/P2チャンネル – PlaylistPlayer	54
Full Display – Recorderチャンネル	55
ステータス表示部	55
プレビュー表示部	56
設定ボタン部	56
操作ボタン部	57
情報表示部	58
RecモードとRec機能の対応	59
Full Display – ClipPlayer	60
ステータス表示部	61
プレビュー表示部	62
設定ボタン部	63
操作ボタン部	63
情報表示部	64
プレビュー表示エリア右クリックメニュー	65
Binからクリップをロードする	65
録画中クリップをロードする（追っかけ再生）	65
Mark IN/OUT位置の調整	65
同期再生モード	66
Full Display – PlaylistPlayer	67
ステータス表示部	68
プレビュー表示部	69
設定ボタン部	69
操作ボタン部	70
情報表示部	71
イベントリスト表示部	72
イベントリスト右クリックメニュー	73
プレビュー表示エリア右クリックメニュー	74
サムネイル上のアイコン	75
プレイリストの作成	75
同期再生モード	75
Audio Level	76
プロパティ画面	77
クリップのプロパティ	77
Clip Infoタブ	77
Media Infoタブ	78
Timecodeタブ	79
プレイリストのプロパティ	80
Playlist Infoタブ	80

Timecodeタブ	81
All Eventsタブ	82
イベントのプロパティ	84
Event Infoタブ	84
GPIタブ	85
Start Effectタブ	86
End Effectタブ	87
ログレベル設定画面	88
ログ画面	89

APPENDIX	91
T2 ハードウェア仕様	92
解像度一覧	93
GPI 入出力ピン	94

注意事項

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項：

Windows XP Embedded and Windows Embedded Standard Runtime

本ライセンス条項は、お客様とトムソン・カノープス株式会社との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。これらのライセンス条項は本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、本ソフトウェアが記録された別の媒体も含まれます。

本デバイスのソフトウェアには、マイクロソフトまたはその子会社からライセンス許諾されたソフトウェアが含まれています。

また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア
- インターネットベースのサービス
- サポート サービス

ただし、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。お客様がマイクロソフトから更新プログラムまたは追加ソフトウェアを直接入手された場合、トムソン・カノープス株式会社ではなく、マイクロソフトが当該更新プログラムまたは追加ソフトウェアを許諾します。

以下に説明するように、一部の機能を使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピュータ情報を送信することにお客様が同意されたものとします。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用または複製することはできません。この場合、トムソン・カノープス株式会社に問い合わせ、お支払いいただいた金額の払戻しに関する方針を確認してください。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. 使用に関する権利。

お客様は、本ソフトウェアを取得したデバイスで本ソフトウェアを使用できます。

2. 追加のライセンス条件および追加の使用権。

a. 固有の使用。 トムソン・カノーパス株式会社は、本デバイスを特定の目的で使用するよう設計しています。お客様は当該使用目的に限り本ソフトウェアを使用できます。

b. その他のソフトウェア。 お客様は、他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアで他のプログラムを使用できます。

- 製造業者の固有のデバイス使用目的を直接サポートする。
- システムユーティリティ、リソース管理、またはウイルス対策や類似する保護対策を提供する。

コンシューマまたはビジネスタスクやプロセスを提供するソフトウェアを本デバイスで実行することはできません。該当するソフトウェアには、電子メール、ワード プロセッサ、表計算、データベース、スケジュール作成、および家計簿ソフトウェアが含まれています。本デバイスは、ターミナル サービス プロトコルを使用して、サーバーで実行されるこれらのソフトウェアにアクセスできます。

c. デバイス接続。

- お客様は、ターミナルサービスプロトコルを使用して、電子メール、ワードプロセッサ、スケジュール作成や表計算などのビジネスタスクやプロセスソフトウェアを実行する別のデバイスに本デバイスを接続することができます。
- お客様は、最大**10**台のデバイスに本ソフトウェアへのアクセスを許可し、以下を利用することができます。
 - ファイルサービス
 - プリントサービス
 - インターネットの情報サービス
 - インターネット接続共有サービスおよびテレフォニーサービス

この**10**台という制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介し本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は TCP/IP を介していつでも無制限に受信できます。

3. 使用許諾の適用範囲。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本契約は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。トムソン・カノーブス株式会社 およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用法によりこの権利を超越した権利が与えられる場合を除き、お客様は本契約書で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。詳細については、本ソフトウェアのマニュアルを参照するか、トムソン・カノーブス株式会社にお問い合わせください。上記の制限にもかかわらず、法律上許容される範囲において、以下の行為は一切禁止されています。

- 本ソフトウェアの技術的な制限を回避する方法で利用すること
- 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること
- 本契約書に指定される数を超えて本ソフトウェアの複製を作成すること
- 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること
- 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること
- 本ソフトウェアを商用ホスティング サービスで利用すること

本契約書で定められている場合を除き、任意のデバイス上で本ソフトウェアにアクセスする権利は、当該デバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。

お客様は、リモート デスクトップなどのリモート アクセス技術を使用して、別のデバイスから本ソフトウェアにリモートアクセスすることができます。他のソフトウェアにアクセスするプロトコルの使用に必要なライセンスの取得にはお客様が責任を負うものとします。

- リモート ブート機能。トムソン・カノーブス株式会社がデバイスにおいて本ソフトウェアのリモート ブート機能を有効にしている場合、お客様は以下の操作ができます。
 - (i) 本ソフトウェアの複製1部をお客様のサーバーにインストールして、ライセンス取得済みデバイスにリモートブートプロセスの一環として展開するためのみにRemote Boot Installation Service (RBIS)ツールを使用する。
 - (ii) リモート ブート プロセスの一環として本ソフトウェアをデバイスに展開するためのみにRemote Boot Installation Serviceを使用する。
 - (iii) 本ソフトウェアをライセンス取得済みデバイスにダウンロードして、ライセンス取得済みデバイスで使用する。

詳細については、本ソフトウェアのマニュアルを参照するか、トムソン・カノーブス株式会社にお問い合わせください。

- インターネットベースのサービス。マイクロソフトは、本ソフトウェアと共にインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものとします。

- a. **インターネットベースのサービスに関する同意。**本ソフトウェアには、以下に説明するインターネットを経由してマイクロソフトのコンピュータシステムに接続する機能が含まれます。接続が行われる際、通知が行われない場合があります。これらの機能を解除したり、使用しないことも選択できます。これらの機能に関する詳細については、以下のWebサイトをご参照ください。

<http://www.microsoft.com/windowsxp/downloads/updates/sp2/docs/privacy.mspx>

これらの機能を利用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとします。マイクロソフトはこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。

- b. **コンピュータ情報。**以下の機能はインターネットプロトコルを使用しており、お客様のIPアドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピュータ情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースの複数のサービスを提供するためにこれらの情報を利用します。

- **Webコンテンツ機能。**本ソフトウェアには、関連するコンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。コンテンツを提供するために、これらの機能は、お客様が使用しているオペレーティングシステムの種類、本ソフトウェアの名称およびバージョン、本ソフトウェアをインストールしたデバイスのブラウザの種類および言語コードをマイクロソフトに送信します。この機能の例として、クリップアート、テンプレート、オンライントレーニング、オンラインアシスタンス、およびAppshelpが含まれます。これらの機能は、起動しない限り動作せず、お客様は、これらの機能を解除することも、使用しないことも選択できます。
- **電子認証。**本ソフトウェアはデジタル証明書を使用します。これらの電子認証は、X.509標準暗号化情報を使用し、インターネットユーザーを特定します。本ソフトウェアは証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。このセキュリティ機能は、お客様がインターネットに接続した場合にのみ作動します。
- **Auto Root Update。**Auto Root Update機能は信頼できる認証機関のリストを更新します。Auto Root Update機能は解除することができます。
- **Windows Media Player。**お客様が Windows Media Playerを使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。
 - お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス

- Windows Media Playerの最新バージョン
 - Codec（コンテンツの再生に必要なCodecがデバイスにない場合）。お客様は、この機能を解除することができます。詳細については、<http://microsoft.com/windows/windowsmedia/mp10/privacy.aspx> をご参照ください。
 - **Windows Media Digital Rights Management.** コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media Digital Rights Management (WMDRM) 技術を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRMで保護されたコンテンツを再生、複製する際にWMDRMを使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをWMDRMを使用して再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することがあります。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする際、お客様はマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様がこれらのコンテンツにアクセスする前に、WMDRMのアップグレードを要請することがあります。WMDRMを含むマイクロソフトソフトウェアは、アップグレードに先立ってお客様の同意を求めます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。インターネットに接続する WMDRM機能は解除することができます。この機能が解除されている場合、正規のライセンスを取得している限り、コンテンツを再生することは可能です。
- c. **インターネットベースサービスの不正使用。**お客様は、これらのサービスにダメージを及ぼす可能性のある方法、または第三者によるサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。
4. **Windows Update Agent (Software Update Services と呼ばれます)。** デバイスにインストールされた本ソフトウェアには、必要なサーバーコンポーネントがインストールされたサーバーにデバイスを接続して更新プログラム（「Windows Update」）にアクセスできるようにした Windows Update Agent（「WUA」）機能が含まれています。Windows Update が付属するこのマイクロソフトソフトウェアライセンス条項または他の EULA の免責に限らず、お客様は、デバイスにインストールする Windows Update について、マイクロソフトおよびその子会社は保証を行わないことを認め、同意するものとします。
 5. **製品サポート。** サポート方法については、トムソン・カノーブス株式会社にお問い合わせください。サポートの連絡先については本デバイス付属の文書をご参照ください。
 6. **バックアップ用の複製。** お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お

お客様が本ソフトウェアを本デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。

7. ライセンス証明書 (「Proof of License」または「POL」)。お客様が本ソフトウェアを本デバイスにインストールされた状態、CD-ROM またはその他の媒体で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾されたものであることは、正規のマイクロソフト「Certificate of Authenticity」ラベルが正規の本ソフトウェアに付属していることをもって識別することができます。正規のラベルはデバイス上もしくはトムソン・カノーブス株式会社のソフトウェア梱包に貼付されている必要があります。ラベルが別途付属する場合は、無効とみなされます。お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、<http://www.howtotell.com> をご参照ください。
8. 第三者への譲渡。お客様は、本ソフトウェアを、本デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本契約書と一緒にのみ、第三者に直接譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受人は本ライセンス条項が、譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を一切保持することができません。
9. 非フォールトトレラント。本ソフトウェアは、フォールトトレラントではありません。トムソン・カノーブス株式会社は、本ソフトウェアを本デバイスにインストールし、本デバイスでの本ソフトウェアの実行に責任を負います。
10. 使用の制限。マイクロソフト ソフトウェアは不具合に対して自動的に対応できる機能または性能を持たないシステムを対象にしています。お客様は、万一誤作動した場合に人身傷害もしくは死亡につながる可能性のあるデバイスまたはシステムでマイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。使用の制限には、原子力施設の操業、航空機の航行、通信システム、および航空管制が含まれます。
11. 本ソフトウェアの保証なし。本ソフトウェアは、何ら保証のない現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用から生じるリスクは、お客様が負うものとします。他の明示的な保証または条件は規定いたしません。本デバイスもしくは本ソフトウェアに関する保証は、マイクロソフト またはその子会社が負うことはなく拘束されるものではありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証についてトムソン・カノーブス株式会社 およびマイクロソフトは一切責任を負いません。
12. 責任の制限。マイクロソフトおよびその子会社の責任は、250 米ドル (US \$250.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害 (派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害を含みますがこれらに限定されません) に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）または第三者のプログラムに関連した事項
- 契約違反、保証違反、無過失責任、または該当法で許可されている範囲の過失に関する主張

マイクロソフトがこのような損害の可能性について知らされていた場合も制限が適用されるものとします。上記の制限は、一部の国では付随的、派生的、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められないため、適用されない場合があります。

- 13.輸出規制。本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。これらの法律には、輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限が含まれます。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

セットアップ

概 要

T2は、入力1チャンネル・出力2チャンネルを持ち、HDの録画・再生を同時に行うことが可能なデジタルデッキです。

前面部のジョグ/シャトルおよび、外部コントローラにより、可変速再生を行うことができます。

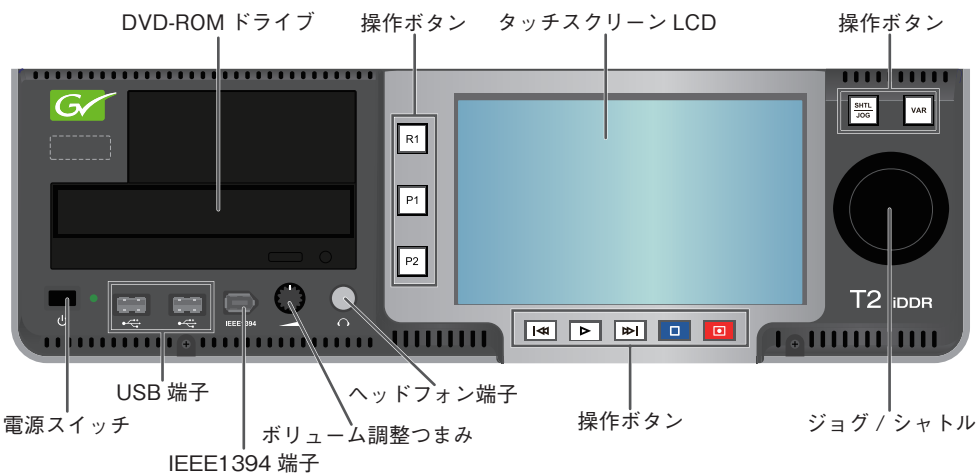
特 長

- 高画質な Canopus HQ Codec に対応しており、1920 × 1080 のフル解像度、4:2:2 カラースペース、最大 200Mbps の高画質の素材を取り扱うことができます。
- 当社製 EDIUS で編集した HQ 素材を、エンコードしなおすことなく、そのまま再生することができます。
- 1 入力、2 出力の HD/SD-SDI を装備し、同時入出力が可能です。2 つの出力を完全に同期させた再生も可能です。
- RS-422A でのデッキコントロールに対応しています。
- GPI による外部制御に対応しています。
- 7インチのタッチスクリーン LCD やジョグ/シャトルを搭載し、本体のみでプレイリスト作成などの操作が可能です。(フロントパネルモード)
- ディスプレイやキーボード、マウスを接続することで、フロントパネルと同等の操作をキーボード、マウスで行うことが可能です。(ワークステーションモード)
- QuickTime ※、Windows Media の各種フォーマットのファイルインポートに対応しています。

※コーデックの種類により対応していないものもあります。

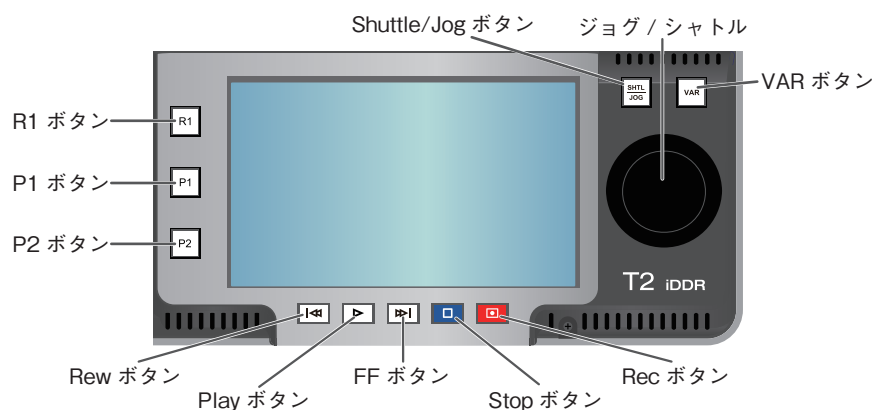
各部の名称と機能

フロントパネル



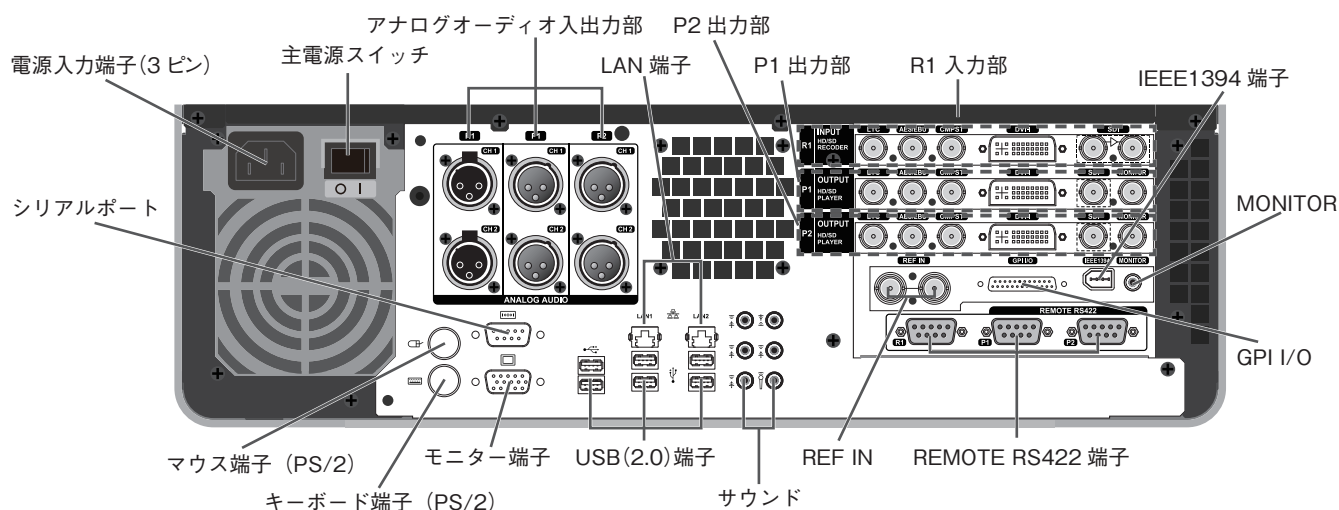
タッチスクリーン LCD	T2 の画像情報を表示します。画面上の表示内容をタップする事で T2 を操作することができます。
DVD-ROM ドライブ	DVD-ROM の映像・音声メディアファイルをインポートする場合に使用します。 ※ DVD-Video の再生には対応していません。
電源スイッチ	T2 を起動 / 終了します。
USB 端子	USB 対応リムーバブル機器を接続します。
IEEE1394 端子	IEEE1394 対応リムーバブル機器を接続します。 ※ DV/HDV 機器の接続には対応していません。
ボリューム調整つまみ	ヘッドフォンのボリュームを調整します。
ヘッドフォン端子	ヘッドフォンを接続することができます。
ジョグ / シャトル	(次頁参照)
操作ボタン	(次頁参照)

操作ボタン



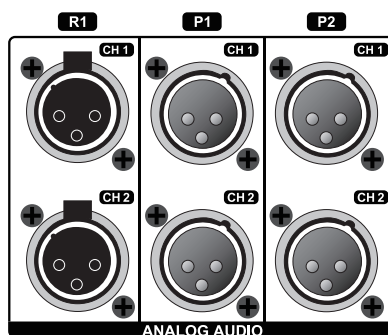
R1 ボタン	Recorder 画面をアクティブにします。
P1 ボタン	Player1 画面をアクティブにします。
P2 ボタン	Player2 画面をアクティブにします。
Rew ボタン	1 フレーム戻します。押し続けることで巻き戻しとなります。
Play ボタン	再生を開始します。
FF ボタン	1 フレーム送ります。押し続けることで早送りとなります。
Stop ボタン	再生、録画を停止します。
Rec ボタン	録画を開始します。
Shuttle/Jog ボタン	ジョグ/シャトルを有効にします (VAR ボタンとの切り替え)。
VAR ボタン	可変速再生を行います (コントロール画面を表示。Shuttle/Jog ボタンとの切り替え)。
ジョグ / シャトル	ジョグ再生、シャトル再生を行います。
Rew ボタン + Stop ボタン	クリップ再生時 直前の IN/OUT 点、またはクリップの先頭に移動します。 プレイリスト再生時 前のイベントへ移動します。
FF ボタン + Stop ボタン	クリップ再生時 次の IN/OUT 点、またはクリップの最後尾に移動します。 プレイリスト再生時 次のイベントへ移動します。

リアパネル



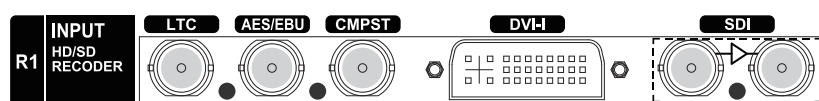
電源入力端子 (3 ピン)	電源ケーブルを使用して AC 電源に接続します。
主電源スイッチ	主電源の入 / 切を切り換えます。
アナログオーディオ入出力部	アナログオーディオの入出力に使用します。
マウス端子 (PS/2)	マウスを接続する場合に使用します。
キーボード端子 (PS/2)	キーボードを接続する場合に使用します。
シリアルポート	使用しません。
モニター端子	PC モニターを接続する場合に使用します。
USB (2.0) 端子	キーボード、マウスなどを接続する場合に使用します。
LAN 端子	LAN ケーブルを接続します。
サウンド	使用しません。
R1 入力部	R1 チャンネルへの入力に使用します。
P1 出力部	P1 チャンネルからの出力に使用します。
P2 出力部	P2 チャンネルからの出力に使用します。
REF IN	REF 信号の入力に使用します。
GPI I/O	GPI の入出力に使用します。
IEEE1394 端子	IEEE1394 対応機器を接続します。
MONITOR	オーディオモニターに使用します。
REMOTE RS422 端子	R1、P1、P2 チャンネルのリモート制御に使用します。

アナログオーディオ入力部



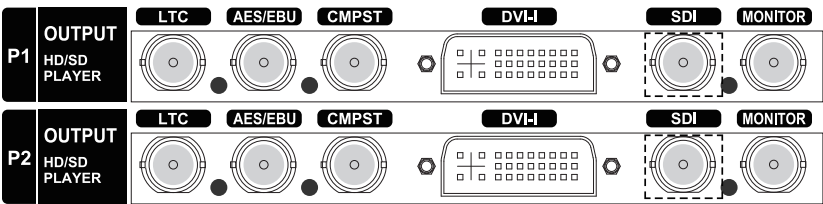
R1 - CH1 R1 - CH2	R1 チャンネルへのオーディオ入力に使用します。(バランス入力) XLR-3-31 × 2 (CH1 ~ 2)
P1 - CH1 P1 - CH2	P1 チャンネルのオーディオ出力に使用します。(バランス出力) XLR-3-32 × 2 (CH1 ~ 2)
P2 - CH1 P2 - CH2	P2 チャンネルのオーディオ出力に使用します。(バランス出力) XLR-3-32 × 2 (CH1 ~ 2)

R1入力部



LTC	LTC (タイムコード) の入力に使用します。
AES/EBU	デジタルオーディオ (AES/EBU) の入力に使用します。
CMPST	コンポジットの入力に使用します。
DVI-I	DVI-I の入力に使用します。(DVI、YPbPr 兼用)
SDI	SDI 入力 (左側)、アクティブスルー (右側) に使用します。

P1/P2出力部



LTC	LTC（タイムコード）の出力に使用します。
AES/EBU	デジタルオーディオ（AES/EBU）の出力に使用します。
CMPST	コンポジットの出力に使用します。
DVI-I	DVI-I の出力に使用します。（DVI、RGB、YPbPr 兼用）
SDI	SDI の出力に使用します。
MONITOR	モニタの出力（コンポジット）に使用します。

注意 YPbPr信号はDVI-I端子のアナログRGBピンから入出力します。使用にあたってはアナログRGB信号用の変換コネクタケーブルをご用意ください。

起動・終了

起 動

T2を起動します。

1. 本体リアパネルの主電源スイッチをONにして、フロントパネルの電源スイッチをONにします。

電源スイッチ



2. T2が起動し、タッチスクリーンLCDに3ch Viewが表示されます。

3ch View



ワークステーションモードへの切り替え

T2の起動直後は、フロントパネルモードで動作しています。ワークステーションモードに切り替えるには、次の操作を行ってください。

1. 接続したPCモニター上に表示されている [System] メニューで、[Switch to Workstation mode] を選択します。

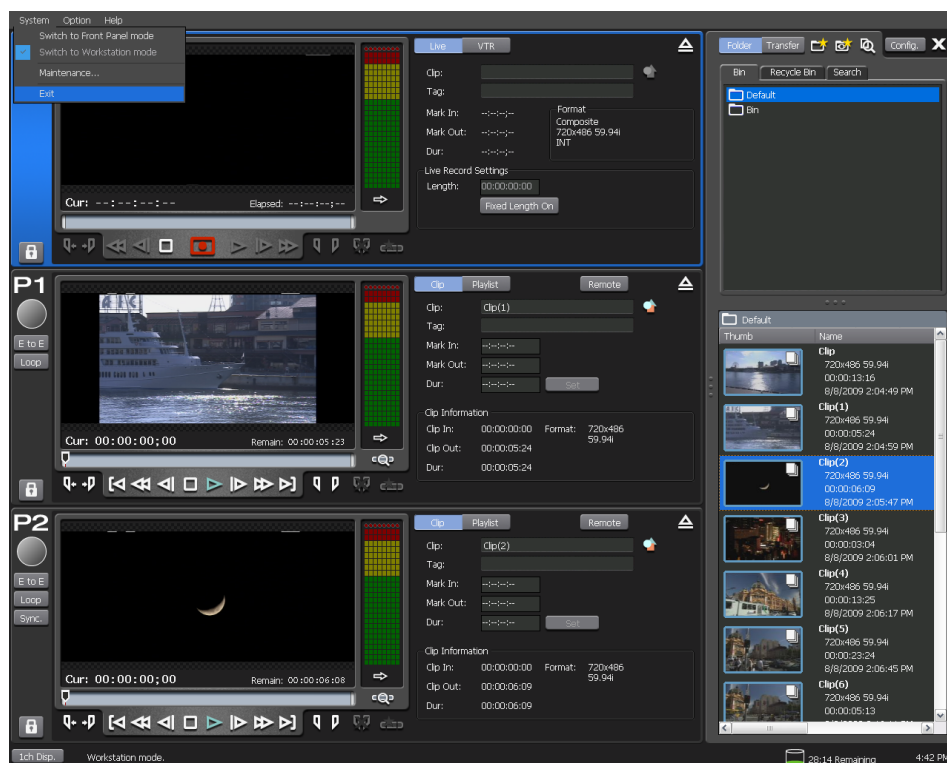
※再度フロントパネルモードに切り替えるには、タッチパネルスクリーンLCDをタップするか、PCモニター上に表示されている [System] メニューで、[Switch to Front Panel mode] を選択してください。

終了

T2を終了します。

1. [System] メニューの [Exit] を選択します。

[System] メニュー



2. 表示されるダイアログで [Shutdown] を選択し、OKボタンをクリックします。T2の主電源をOFFにする場合は、画面表示が消えてシャットダウンが完了したのを確認後にリアパネルの主電源スイッチをOFFに設定してください。

本体の設定

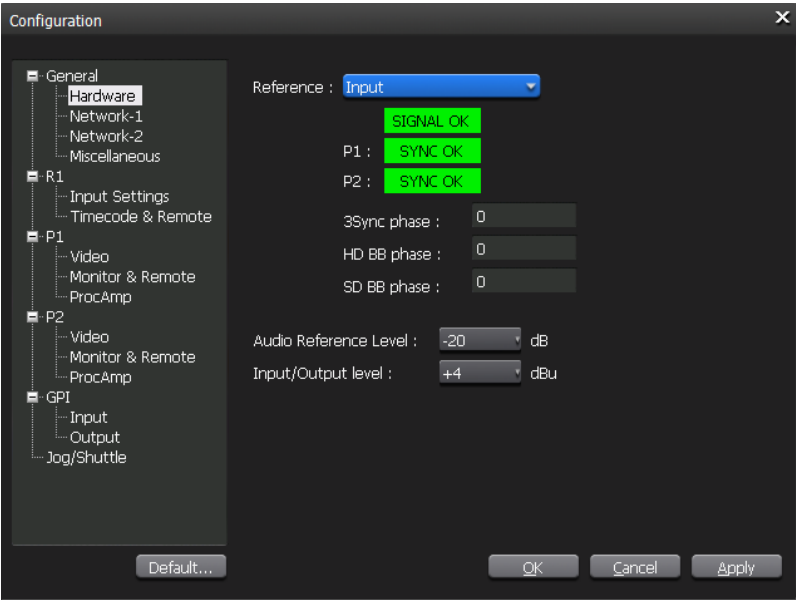
ワークステーションモード起動後に表示される画面右上のConfigボタンをクリックすると、システム設定が表示されます。ご使用の接続環境に応じて、設定を行ってください。

Configボタン



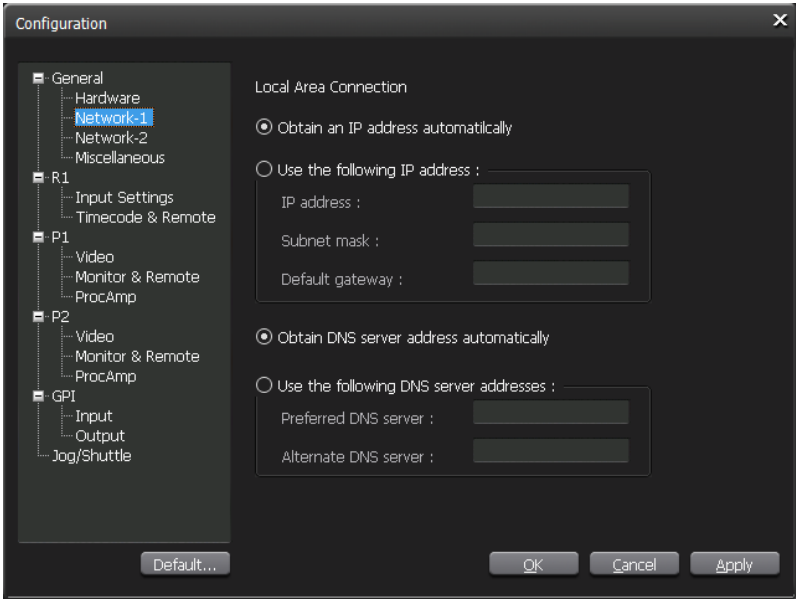
システム設定

ハードウェア設定画面



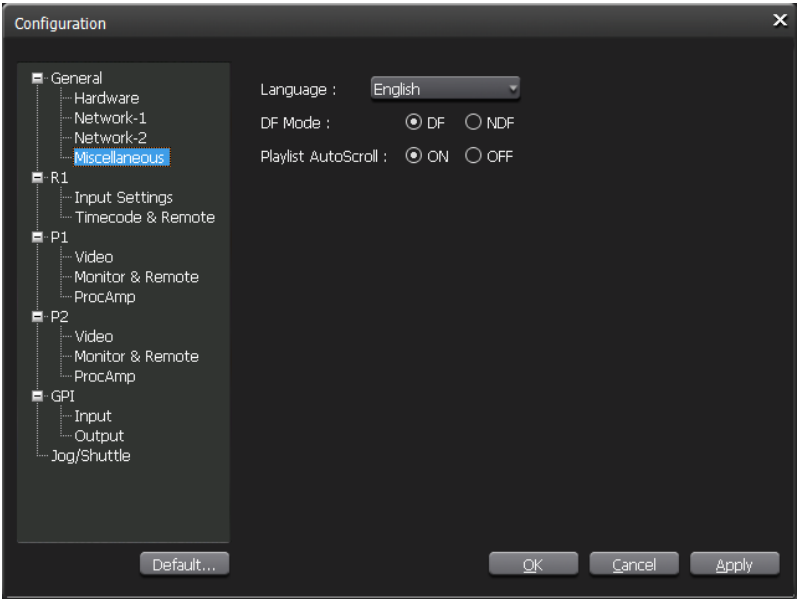
Reference	[External]、[Input]、[Internal] の中から、同期信号を選択します。下段には、信号の入力状況を表示します。
	P1 P1 チャンネルと同期がとれているかを表示します。
	P2 P2 チャンネルと同期がとれているかを表示します。
	3Sync phase HD3 値 REF を使用する場合に、数値を入力して REF 位相を調整します。([External] 選択時のみ)
Audio Reference Level	HD BB phase HD REF として SD Black Burst REF を使用する場合に、数値を入力して REF 位相を調整します。([External] 選択時のみ)
	SD BB phase SD REF として SD Black Burst REF を使用する場合に、数値を入力して REF 位相を調整します。([External] 選択時のみ)
Input/Output level	オーディオ入出力レベルを設定します。

ネットワーク-1/ネットワーク-2設定画面



Obtain an IP address automatically	DHCP を使用して、IP アドレスを自動設定します。
Use the following IP address	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを指定してローカルエリア接続を行います。 IP address IP アドレスを指定します。 Subnet mask サブネットマスクを指定します。 Default gateway デフォルトゲートウェイを指定します。
Obtain DNS server address automatically	DHCP を使用して、DNS サーバーアドレスを自動設定します。
Use the following DNS server addresses	優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーのアドレスを指定してローカルエリア接続を行います。 Preferred DNS server 優先 DNS サーバーのアドレスを指定します。 Alternate DNS server 代替 DNS サーバーのアドレスを指定します。

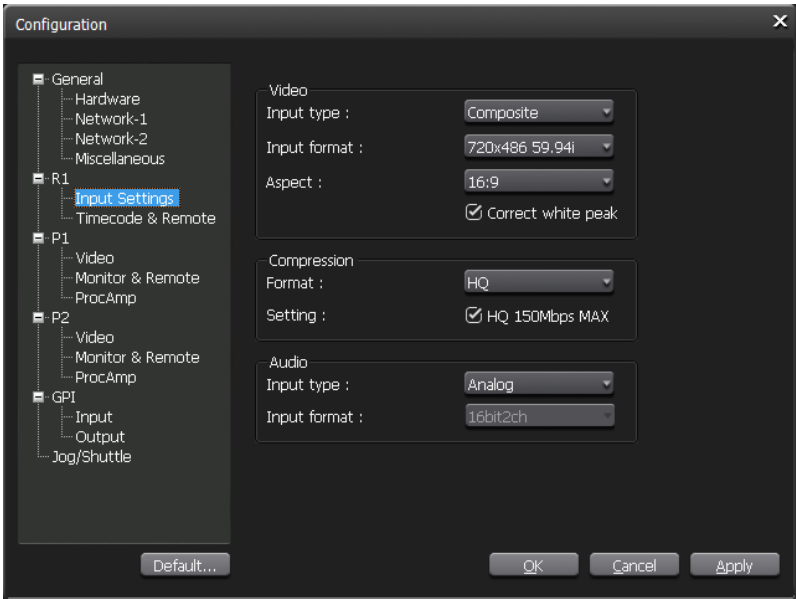
言語設定画面



Language	表示言語を [English]（英語） / [Japanese]（日本語） から選択します。 ※表示言語の変更にはシステムの再起動が必要です。
DF Mode	ドロップフレーム、ノンドロップフレームのどちらを使用するかを選択します。 DF ドロップフレームを使用します。 NDF ノンドロップフレームを使用します。
Playlist AutoScroll	プレイリストのイベントリスト部の自動スクロールの ON/OFF を設定します。

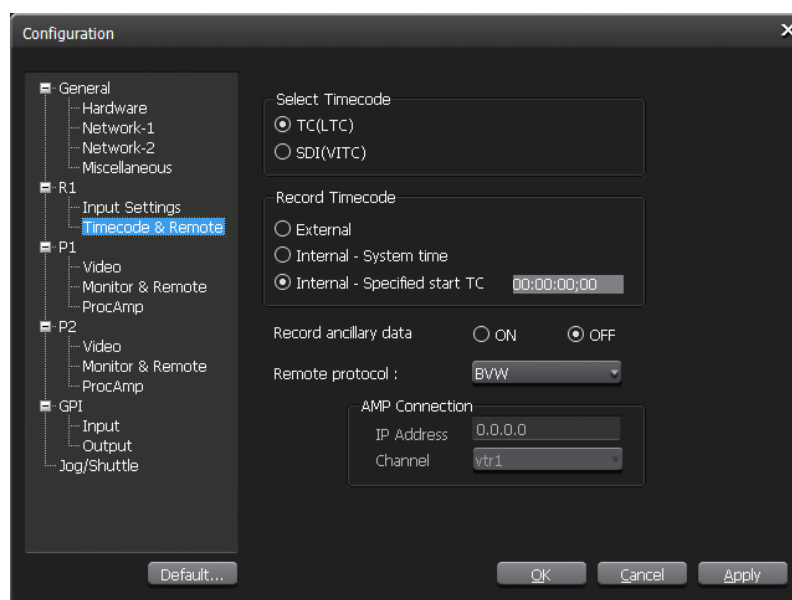
R1チャンネル設定

入力設定画面



Video	Input type ビデオ入力を選択します。 Input format ビデオの入力フォーマットを選択します。 Aspect SD 入力の場合、アスペクト比を選択します。 Correct white peak 白ピーク補正を行う場合にチェックします。
Compression	Format 圧縮方式を選択します。 Setting HQ の圧縮率を 150Mbps に制限したい場合にチェックします。
Audio	Input type 記録するオーディオフォーマットをアナログ、AES/EBU (デジタル)、SDI エンベデッドから選択します。 Input format 16bit 2ch で記録する場合にチェックします。

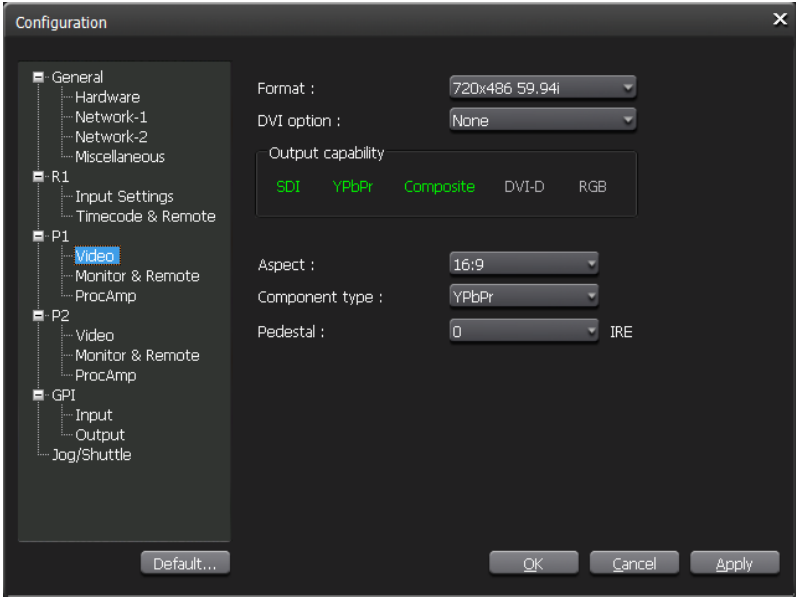
タイムコード&リモート設定画面



Select Timecode	タイムコードの形式を TC (LTC)、SDI (VITC) から選択します。
Record Timecode	録画時に使用するタイムコードを選択します。 External 外部機器のタイムコードを使用します。 Internal – System time システム時刻を使用します。 Internal – Specified start TC 開始時のタイムコードを数値で指定します。
Record ancillary data	ON にすると VANC を記録します。
Remote protocol	REMOTE プロトコルを BVW、AMP から選択します。
AMP Connection	AMP 接続を行う場合に、IP アドレスおよびチャンネルを指定します。

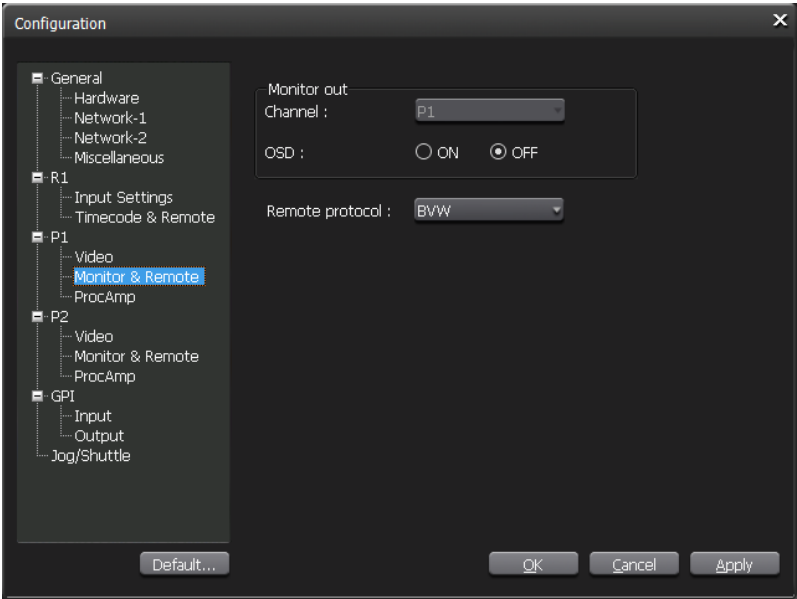
P1/P2チャンネル設定

ビデオ設定画面



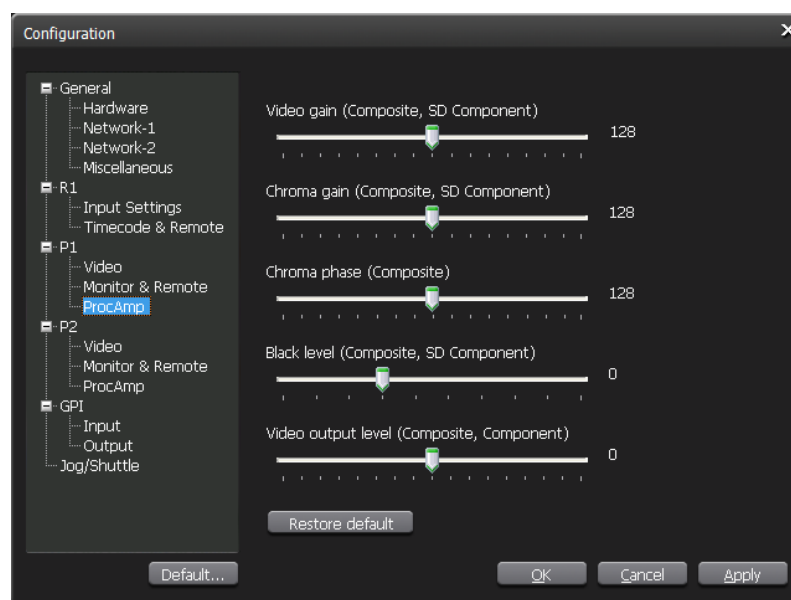
Format	ビデオ出力の解像度とフレームレートを選択します。
DVI option	DVI/RGB 出力フォーマットを使用する場合、使用する画面解像度を選択します。
Output capability	出力可能な方式をハイライトして表示します。
Aspect	アスペクト比を選択します。SD の場合、画面アスペクト比を 4:3 もしくは 16:9 から選択します。
Component type	DVI-I 端子から出力されるアナログ信号のタイプを選択します。
Pedestal	NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を 0 IRE、7.5IRE から選択します。日本では 0 IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

モニター&リモート設定画面



Monitor out	モニター出力に使用するチャンネルおよび、OSD の ON/OFF を指定します。 Channel モニター出力に使用するチャンネルを選択します。[P1] を選択した場合は P1 のみ。[P2] を選択した場合は P1 もしくは P2 が選択できます。 OSD オンスクリーンスクリーンディスプレイの ON/OFF を選択します。
Remote protocol	REMOTE プロトコルを BVW、AMP から選択します。

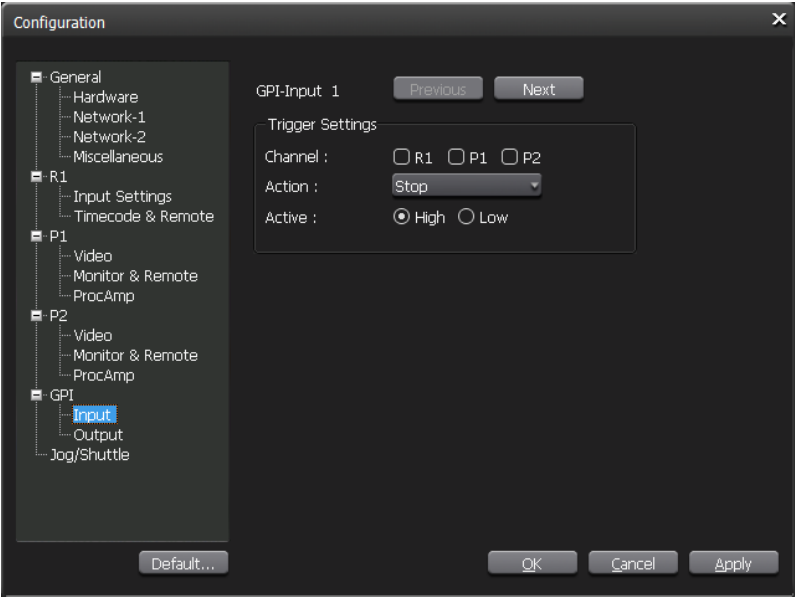
ProcAmp設定画面



Video gain	Y ゲインを調整します。(コンポジット、SD コンポーネントのみ)
Chroma gain	C ゲインを調整します。(コンポジット、SD コンポーネントのみ)
Chroma phase	色相を調整します。(コンポジットのみ)
Black level	黒レベルを調整します。(コンポジット、SD コンポーネントのみ)
Video output level	振幅微調整を調整します。(コンポジット、コンポーネントのみ)

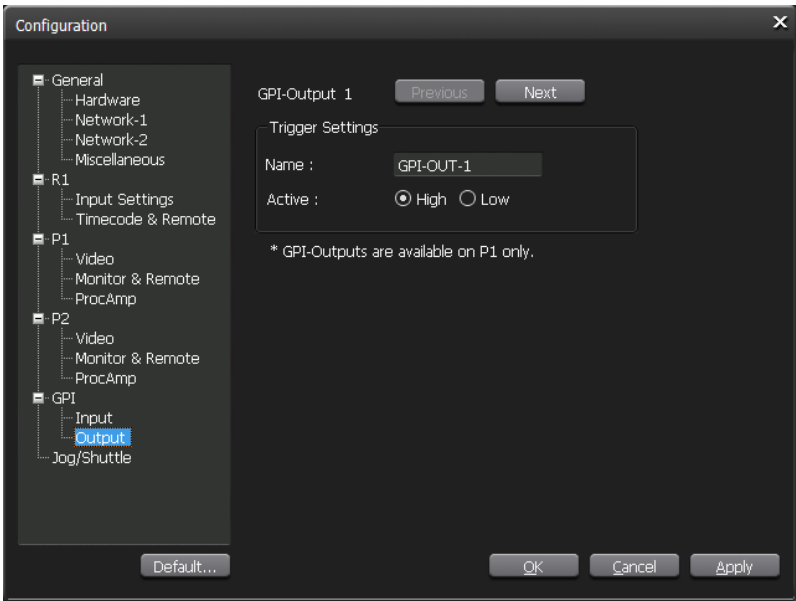
GPI入出力設定

GPI入力設定画面



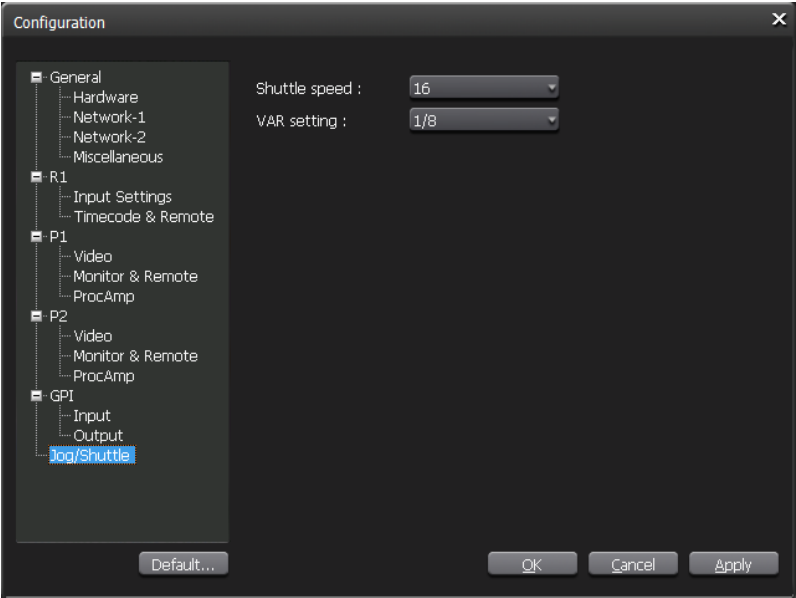
GPI-Input	Previous ボタン、Next ボタンで GPI 入力を選択します。
Trigger Settings	GPI 入力トリガの設定を行います。 Channel トリガがコントロールするチャンネルを選択します。 Action トリガの動作を選択します。 • Stop 再生、録画を停止します。 • Play チャネルにロードしたクリップ、プレイリストを再生します。 • Record 録画を開始します。 • Rewind 巻き戻しを行います。ロードしたコンテンツの先頭に達した場合、または他の処理を行った場合に、巻き戻しは停止します。 • FastFwd 早送りをを行います。ロードしたコンテンツの最後に達した場合、または他の処理を行った場合に、早送りは停止します。 • CueStart ロードしたコンテンツのIN点にCueUpします。 • CueEnd ロードしたコンテンツのOut点にCueUpします。 • Eject ロードしたコンテンツをアンロードします。 • Preview R1チャンネルにロードされているクリップをP1にロードします。 • CueNextEvent ロードしたプレイリスト上の次のイベントにCueUpします。 • CuePrevEvent ロードしたプレイリスト上の直前のイベントにCueUpします。 • VARPlayback 指定の可変速再生モード（「ジョグ/シャトル設定」を参照）で、ロードしたコンテンツを再生します。 Active アクティブにする GPI 信号を、High、Low から選択します。

GPI出力設定画面



GPI-Output	Previous ボタン、Next ボタンで GPI 出力を選択します。
Trigger Settings	GPI 出力トリガの設定を行います。 Name トリガの名称を指定します。 Active アクティブにする GPI 信号を、High、Low から選択します。

ジョグ/シャトル設定



Shuttle speed	シャトルの最高速度を、16x、32x から選択します。
VAR setting	可変速再生モード時の再生速度を、1/8、1/4、1/2 から選択します。

ワークステーションモード

概要

ワークステーションモードは、マウスとキーボードを使用して、外部接続したディスプレイ画面上でT2を操作するモードです。ワークステーションモードで動作中に、タッチスクリーンLCDをタップすると、フロントパネルモードに切り替えることができます。

画面構成



ワークステーションモードの画面には、次のものがあります。

- メニューバー
- ステータスバー
- Bin/Transfer表示部
- コンテンツ表示部
- チャンネル表示部

メニューバー

System Option Help

システムメニュー

フロントパネルモードに切替	ワークステーションモードを終了し、フロントパネルモードに切り替えます。
ワークステーションモードに切替	フロントパネルモードを終了し、ワークステーションモードに切り替えます。
メンテナンス	メンテナンスモードへ移行します。パスワードの入力が必要です。
終了	T2 をシャットダウンします。

オプションメニュー

ログ	ログレベルの設定やログの表示を行います。 ログレベルの設定 ログレベル設定画面を表示します。 ログを表示 ログ画面を表示します。
デバイスの取り外し	リムーバブルデバイスを一覧表示し、取り外し操作を行います。

ヘルプメニュー

T2 について	バージョンを表示します。
---------	--------------

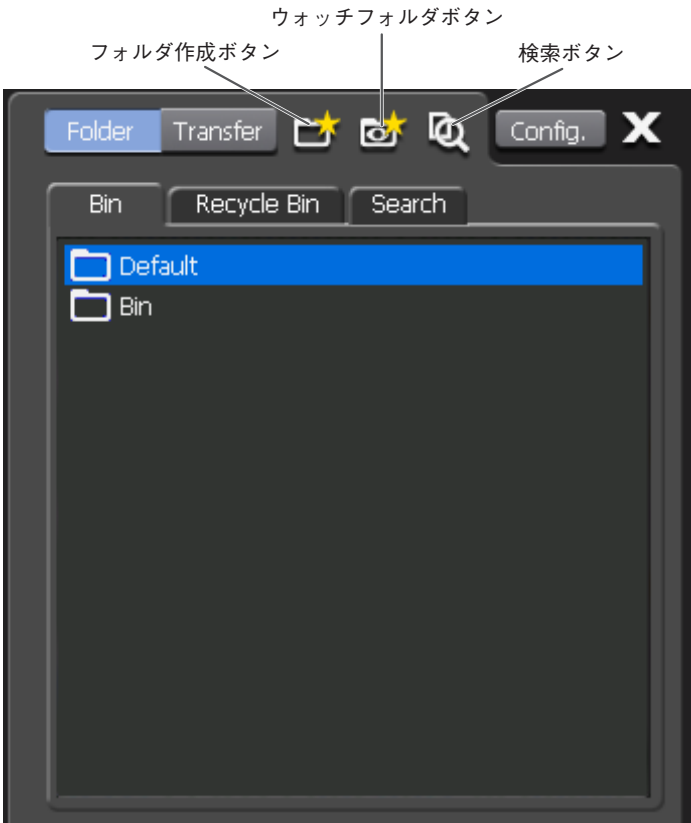
ステータスバー



表示モード切替ボタン	全チャンネル表示（3ch Display）と任意1チャンネルフルサイズ表示（Full Display）の切り替えを行います。
動作モード	現在の動作モードを表示します。
録画可能時間	HDD への録画可能時間の目安を表示します。
時刻	時刻を表示します。

Bin/Transfer表示部

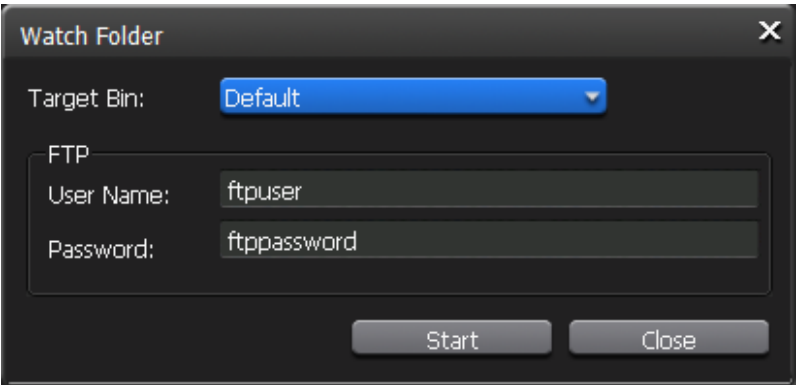
Binフォルダ



Folder/Transfer 切替ボタン	Bin フォルダ画面と転送画面を切り替えます。
フォルダ作成ボタン	新規フォルダを作成します。
ウォッチフォルダボタン	ウォッチフォルダの ON/OFF を切り替えます。
検索ボタン	キーを指定してクリップ、プレイリストを検索することができます。
Config ボタン	設定画面を表示します。
Bin タブ	クリップ、プレイリストを格納するフォルダを表示します。
Recycle Bin (ごみ箱) タブ	Bin から削除されたクリップ、プレイリスト (のフォルダ) を表示します。
Search (検索) タブ	検索結果でリストアップされたフォルダを表示します。

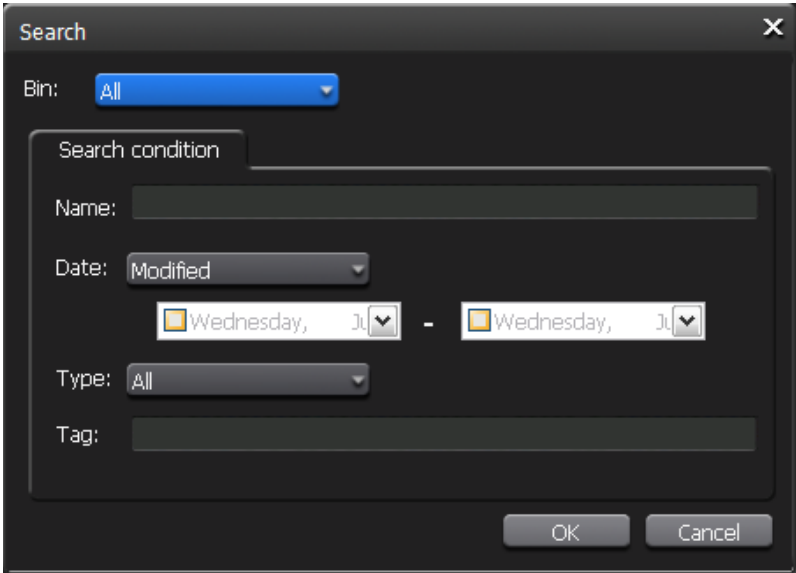
ウォッチフォルダ作成画面

Dataドライブ上に作成したフォルダを、ウォッチフォルダに指定することで、FTPで公開することができます。ウォッチフォルダに指定されたフォルダは常に監視された状態となり、配置されたメディアファイルを自動的にBinに登録します（メディアファイルは、規定のメディアフォルダに移動されます）。



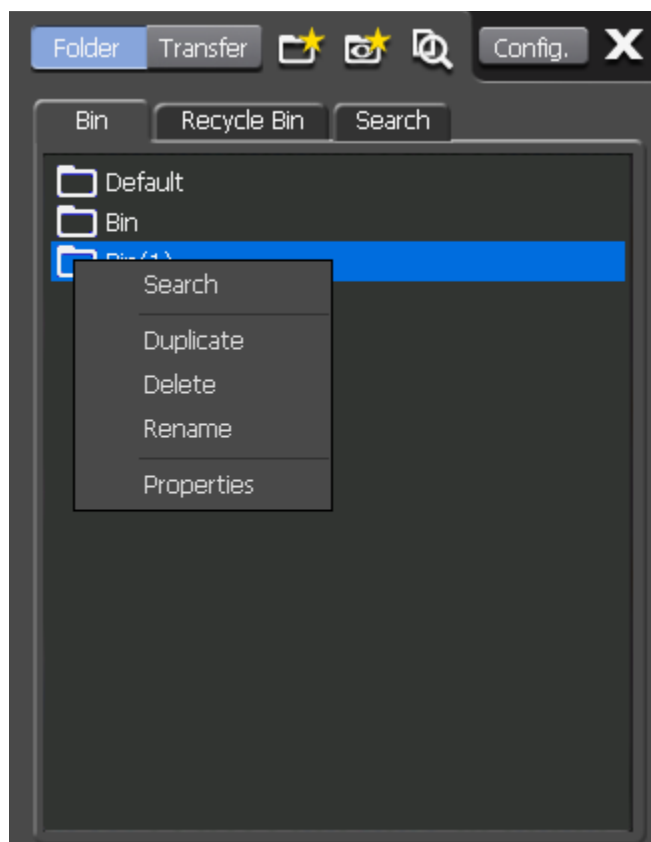
Target Bin	ウォッチフォルダに設定する Bin を選択します。
FTP	FTP のユーザー名、パスワードを設定します。 User Name ユーザー名を入力します。 Password パスワードを入力します。

Searchキー項目



Bin	検索対象フォルダを選択します。
Name	名前で検索します。
Date	作成日時、または更新日時（A ～ B、A 以前、A 以降）で検索します。
Type	スタンダード（HD/SD）で検索します。
Tag	TAG（複数入力の部分一致の AND）で検索します。 ※複数単語を入力する場合は "."（ピリオド）で区切ります。

Binフォルダ右クリックメニュー



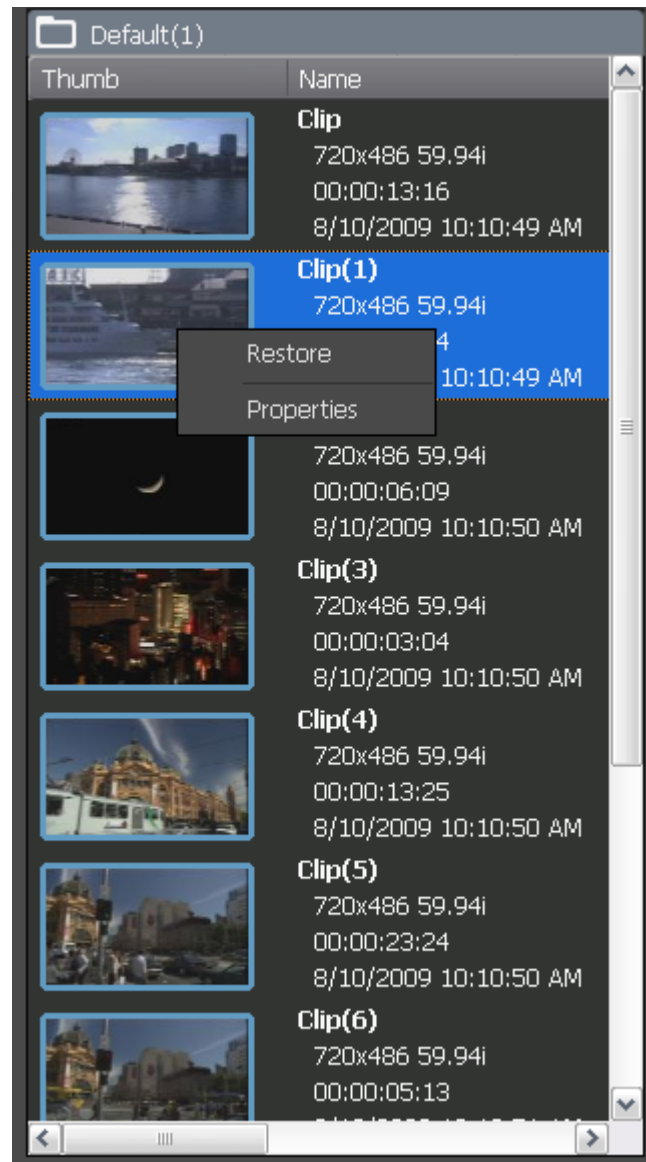
Search (検索)	キーを指定してクリップ / プレイリストを検索します。(選択フォルダ内のみ)
Duplicate (複製)	Bin フォルダを複製します。
Delete (削除)	フォルダを削除して、Recycle Bin (ごみ箱) へ移動します。フォルダに含まれるクリップ、プレイリストも削除されます。
Rename (名前の変更)	Bin フォルダの名称を変更します。
Properties (プロパティ)	Bin フォルダのプロパティを表示します。

Recycle Bin — フォルダ右クリックメニュー



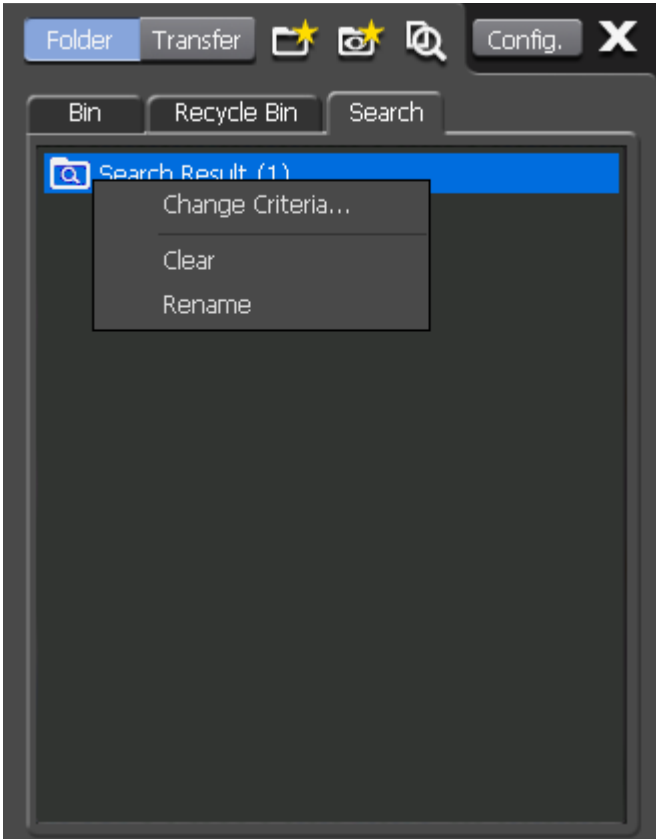
Restore	元の Bin にリストアします。 プレイリストをリストアする場合、そのプレイリストが使用しているクリップが Recycle Bin（ごみ箱）にあれば、同時にリストアされます。
Empty Recycle Bin	Recycle Bin（ごみ箱）のフォルダをすべて削除します。

Recycle Bin – クリップ、プレイリスト右クリックメニュー



Restore	元の Bin にリストアします。 リストア後、対象 Bin フォルダ表示に切り替わります。プレイリストをリストアする場合、そのプレイリストが使用しているクリップが Recycle Bin（ごみ箱）にあれば、同時にリストアされます。
Properties	選択したコンテンツのプロパティを表示します。

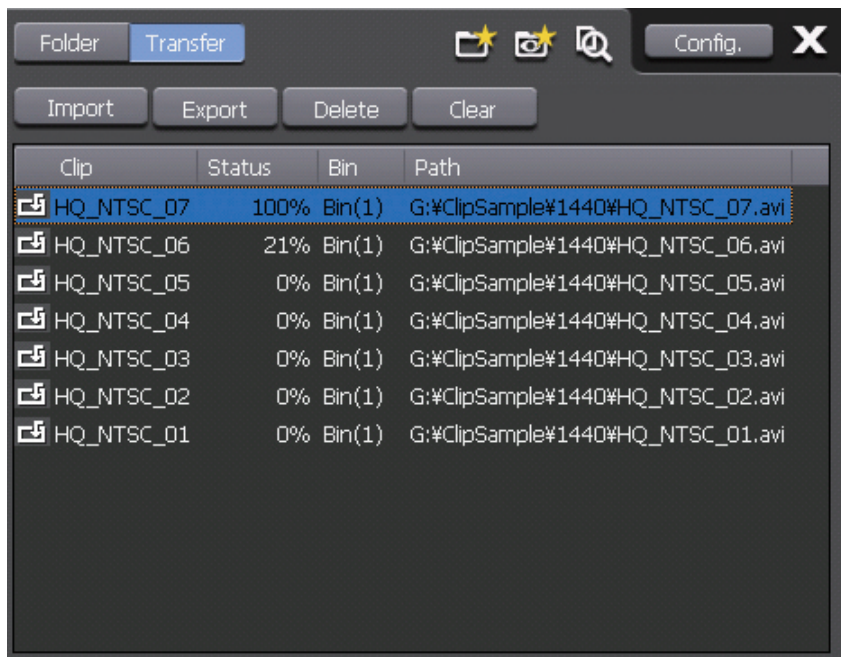
検索結果フォルダ右クリックメニュー



Change Criteria...	検索条件を変更して再検索します。
Clear	検索結果を消去します。
Rename	名称を変更します。

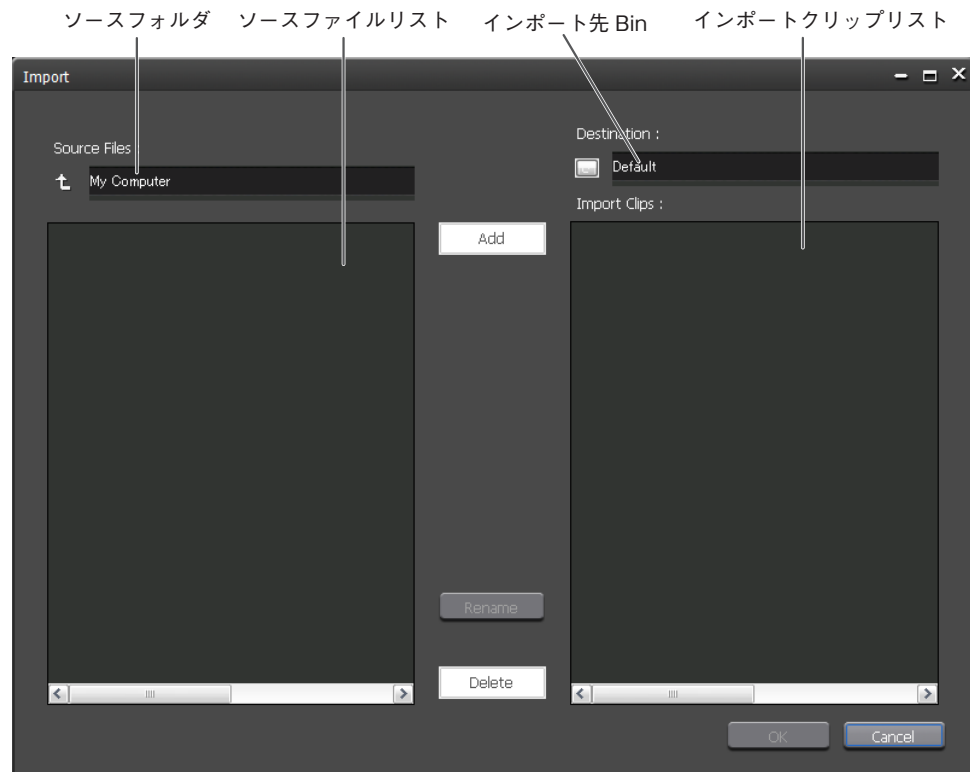
Transfer表示画面

Binフォルダ上部のTransferボタンをクリックすると、Binフォルダ表示部が切り替わり、現在の転送状態（登録された転送ジョブとその進行状況）をリスト表示します。



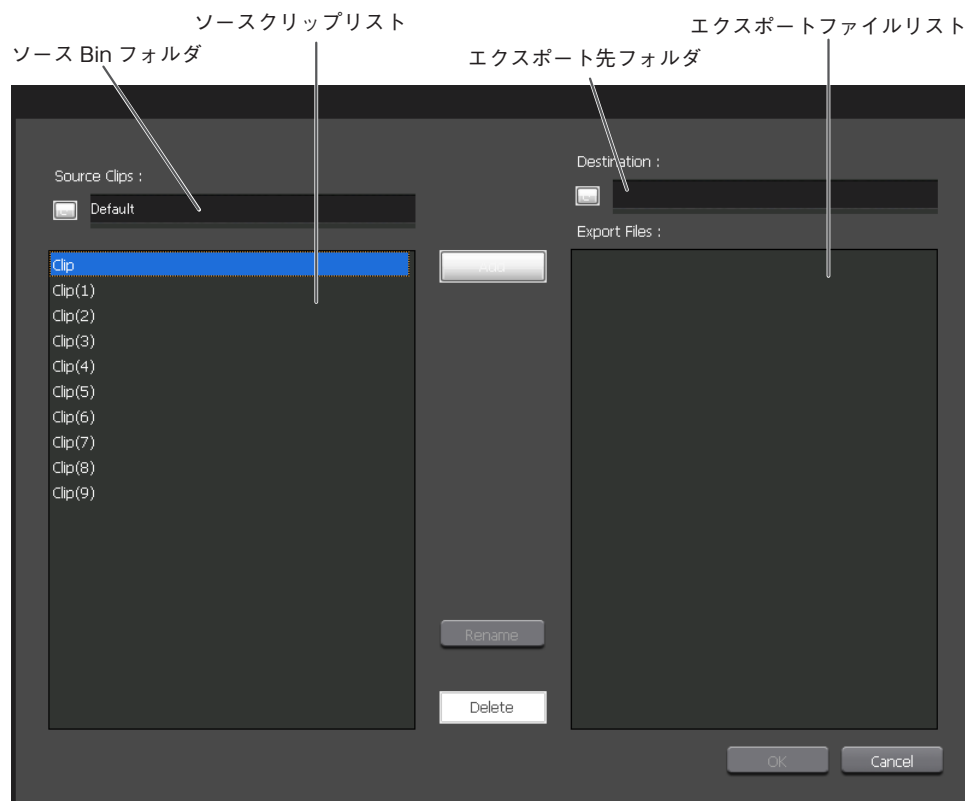
Folder/Transfer 切替ボタン	Bin フォルダ画面と転送画面を切り替えます。
Import ボタン	インポート画面を表示します。
Export ボタン	エクスポート画面を表示します。
Delete ボタン	リスト上で選択したジョブを削除します。転送中の場合は、ジョブを中止します。
Clear ボタン	ジョブリストに表示されているジョブをすべて削除します。

インポート画面



ソースフォルダ	インポート元となるフォルダを表示します。左側のボタンをクリックすると、1 階層上へ移動します。
ソースファイルリスト	ソースフォルダ内にある、メディアファイル（とフォルダ）を一覧表示します。
インポート先 Bin	インポート先の Bin フォルダを表示します。左側のボタンをクリックすると Bin フォルダ選択ダイアログを表示し、インポート先のフォルダを変更することができます。
インポートクリップリスト	インポート対象クリップの一覧を表示します。
Add ボタン	ソースファイルリストで選択したメディアファイルをインポートクリップリストに追加します。ターゲット内に、重複するクリップがある場合は、クリップ名が自動的に変更されます。
Rename ボタン	インポートクリップリストで選択したクリップ（インポート対象のみ）の名称を変更します。
Delete ボタン	インポートクリップリストで選択したクリップ（インポート対象のみ）をリストから削除します。
OK ボタン	インポートクリップリストに登録した内容でインポート処理を開始（ジョブに追加）してインポート画面を閉じます。
Cancel ボタン	インポート画面を閉じます。

エクスポート画面

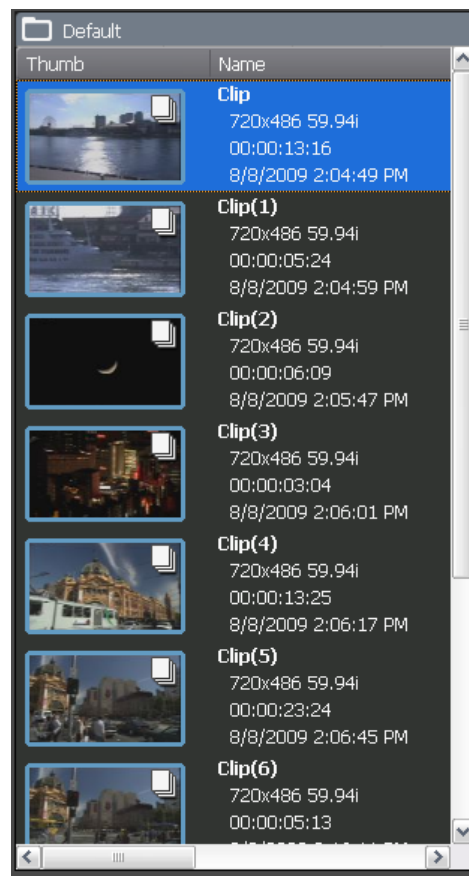


ソース Bin フォルダ	エクスポート元となる Bin フォルダを表示します。左側のボタンをクリックすると Bin フォルダ選択ダイアログ表示し、Bin フォルダを変更することができます。
ソースクリップリスト	ソース Bin フォルダ内にある、クリップを一覧表示します。
エクスポート先フォルダ	エクスポート先のフォルダを表示します。左側のボタンをクリックすると 1 階層上へ移動します。
エクスポートファイルリスト	エクスポート対象クリップ（ファイル名）一覧を表示します。エクスポート先に重複するファイルがある場合は、ファイル名が自動変更されます。
Add ボタン	ソースクリップリストで選択したクリップをエクスポートファイルリストに追加します。
Rename ボタン	エクスポートファイルリストで選択したクリップ（エクスポート対象のみ）の名称を変更します。
Delete ボタン	エクスポートファイルリストで選択したクリップ（エクスポート対象のみ）をリストから削除されます。
OK ボタン	エクスポートファイルリストに登録した内容でエクスポート処理を開始（ジョブに追加）してエクスポート画面を閉じます。
Cancel ボタン	エクスポート画面を閉じます。

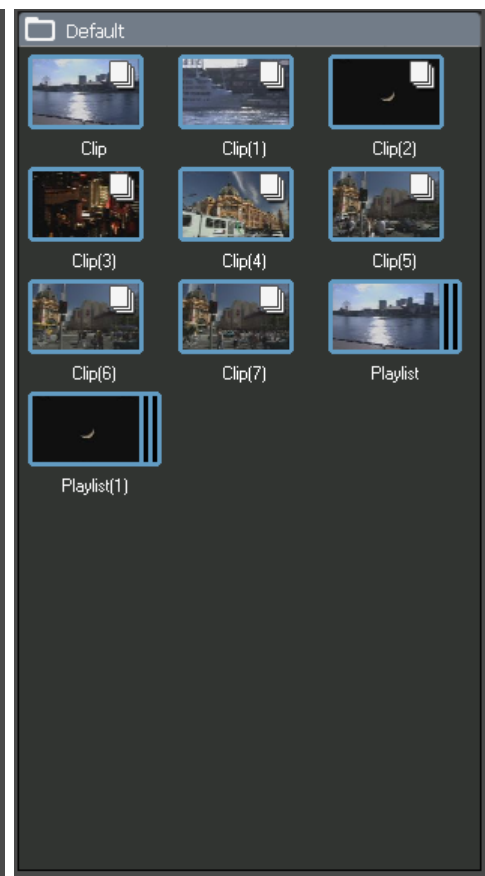
コンテンツ表示部

コンテンツを一覧表示します。右クリックメニューから、テキスト表示、アイコン表示（大/小）を切り替えることができます。

テキスト表示



アイコン表示



フォルダ名	フォルダ名を表示します。
サムネイル	サムネイルを表示します。枠の色を5色の中から選択して割り当てることができます。
コンテンツ情報	コンテンツ情報を表示します。

アイコン表示



ペアリングアイコン	同期再生用にペアリングされているクリップに表示されます。
ロックアイコン	クリップ/プレイリストがロックされている場合に表示されます。
プレイリストで使用アイコン	プレイリストで使用されている場合に表示されます。

コンテンツの選択

コンテンツ（クリップ、プレイリスト）は、Ctrlキー、Shiftキーとの組み合わせで複数選択することができます。

コンテンツの操作

コンテンツは、Binフォルダ表示部内のフォルダにドラッグ&ドロップで移動させることができます。また、Ctrlキーを押しながらドラッグすることで、コピーを作成することができます。ファイルやクリップなどをコピーする場合、自動的にsuffixが付加されます。

コンテンツのプレビュー

フィルムストリップ形式で静止画を並べて表示します。



コンテンツのペアリング（同期設定）

右クリックメニューから、P1チャンネルとP2チャンネルの同期再生のためのペアリングを設定することができます。

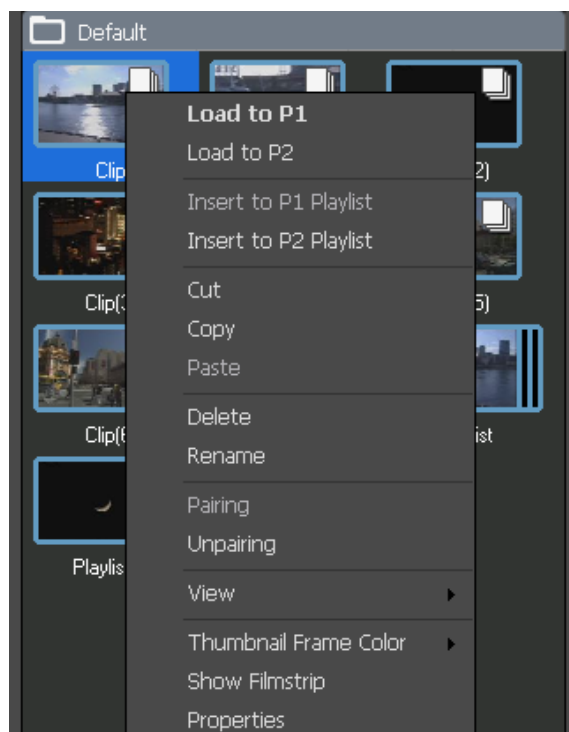
ペアリングされた素材は、サムネイル上に同期アイコンが表示されます。

ペアリングを解除するには、ペアリング設定した素材のうち一方を選択した状態で、右クリックメニューの [Unpairing] を選択します。

ペアリング可能条件

- 同種の素材 2 つ（クリップ 2 つ、またはプレイリスト 2 つ）。クリップとプレイリストの組み合わせでペアリングすることはできません。
- 映像フォーマットが同一プロファイルにロード可能なもの
- 音声は不問

クリップ、プレイリスト右クリックメニュー



Load to P1	選択対象を P1 チャンネルにロードします。※ 1
Load to P2	選択対象を P2 チャンネルにロードします。※ 1
Insert to P1 Playlist	選択対象を P1 チャンネルにロードしたプレイリストに追加します。※ 1
Insert to P2 Playlist	選択対象を P2 チャンネルにロードしたプレイリストに追加します。※ 1
Cut	選択対象をカット（クリップボードにコピー）します。※ 1
Copy	選択対象をコピー（クリップボードにコピー）します。※ 1
Paste	クリップボードにコピーされた内容をペーストします。※ 1
Delete	選択対象を削除して、Recycle Bin（ごみ箱）に移動します。
Rename	選択対象の名称を変更します。※ 1
Pairing	同期再生用にペアリング設定を行います。※ 2
Unpairing	同期再生用のペアリングを解除します。
View	Icon View/Text View を切り替えます。
Thumbnail Frame Color	サムネイル枠色を設定します。
Show Filmstrip	選択対象のプレビュー（Filmstrip）を表示します。※ 1
Properties	選択対象のプロパティを表示します。※ 1

※ 1 1 素材選択時のみ有効

※ 2 2 素材選択時のみ有効

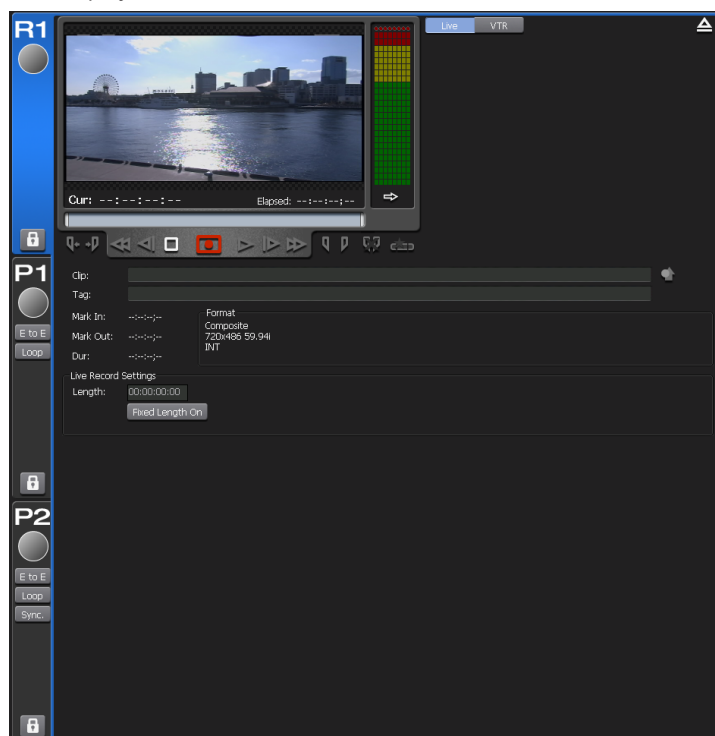
チャンネル表示部

3ch Display、Full Displayの2種類の表示モードがあります。

3ch Display



Full Display



3ch Display

R1、P1、P2の3チャンネルを表示します。各チャンネル部をクリックすることでアクティブなチャンネルを切り替えることができます。



R1チャンネル

入力された信号の録画を行うためのチャンネルです。

画面に表示される項目については、「Full Display – Recorderチャンネル」のページを参照してください。



P1/P2チャンネル — ClipPlayer

クリップの再生を行うチャンネルです。

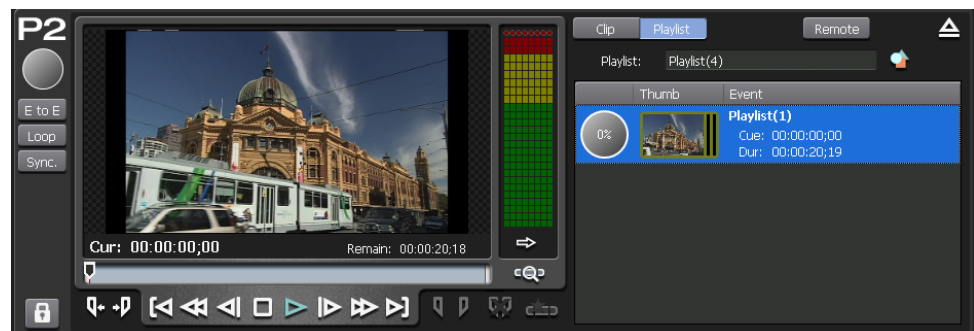
画面に表示される項目については、Full Display — ClipPlayerのページを参照してください。



P1/P2チャンネル — PlaylistPlayer

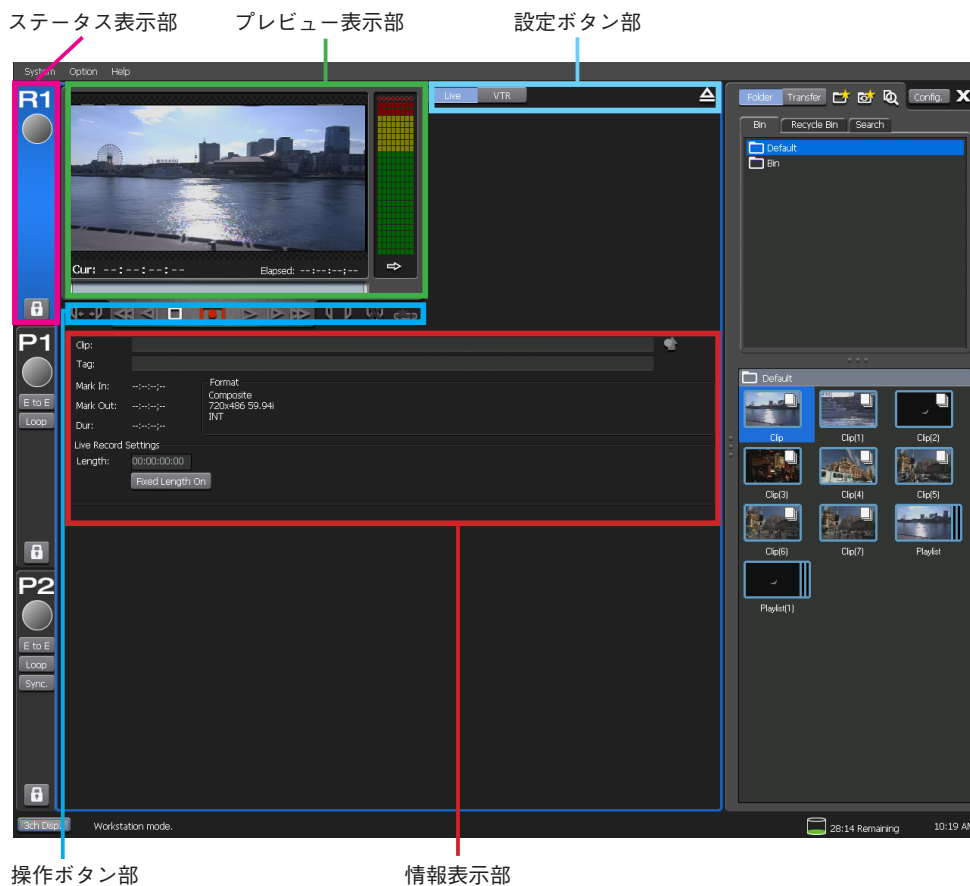
プレイリストの再生を行うチャンネルです。

画面に表示される項目については、Full Display — PlaylistPlayerのページを参照してください。



Full Display – Recorderチャンネル

クリップの録画に関する設定や録画処理を行う画面です。HDDの空き容量が少なくなるとステータスバーのHDDアイコンが赤色で表示されます。また、録画開始時に警告のメッセージが表示されます。



ステータス表示部



ステータス	録画中のクリップの録画動作状態を円グラフ状に表示します。
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。

プレビュー表示部



プレビュー	入力映像をプレビュー表示します。
オーディオレベル	入力オーディオレベルを表示します。
Cur	カレントタイムコードを表示します。
Elapsed	録画経過時間をタイムコードで表示します。
ステータスバー	録画進行状況をバー形式で表示します。

設定ボタン部



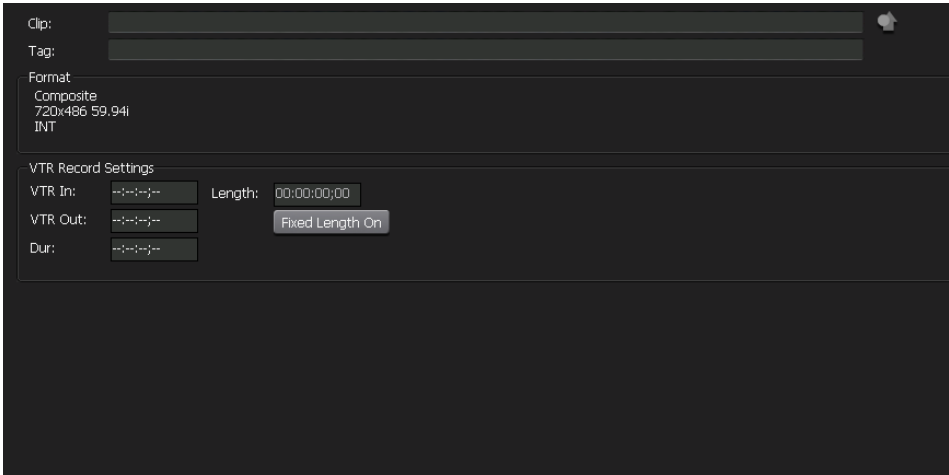
ControlMode 切替	録画モードを Live/VTR より選択して切り替えます。 Live 外部からライブ（ストリーム）入力される映像をそのまま録画します。録画操作は手動で行います。固定長録画を使用することで、指定時間の録画後に自動で録画を終了することができます。 VTR 外部 VTR 機器を T2 からコントロールし、IN/OUT 点を指定して録画を行うことができます。使用するには外部機器との RS-422A リモート接続が必要です。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部



Cue (IN)	設定されている IN 点に VTR を CueUp します。 (VTR モードのみ)
Cue (OUT)	設定されている OUT 点に VTR を CueUp します。 (VTR モードのみ)
巻き戻しボタン	VTR を巻き戻します。(VTR モードのみ)
フレーム戻しボタン	1 フレーム戻します。(VTR モードのみ)
停止ボタン	再生、録画を停止します。
録画ボタン	録画を開始します。
再生ボタン	VTR を再生します。(VTR モードのみ)
フレーム送りボタン	1 フレーム送ります。(VTR モードのみ)
早送りボタン	VTR を早送りします。(VTR モードのみ)
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、TC 表示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、TC 表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットされ、Length 表示エリアに、クリップの長さがセットされます。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします。

情報表示部



Clip	クリップ名を入力します。
Tag	タグを入力します。
Format	Video サイズ、フレームレート、入力、ソース TC (TC (LTC) / SDI (VITC) / INT) などを表示します。
VTR In	IN 点のタイムコードを表示します。
VTR Out	OUT 点のタイムコードを表示します。
Dur	IN-OUT 間の長さをタイムコードで表示します。
Length	固定長録画モード時に、長さを表示します。
Fixed Length On	固定長録画モードを ON にする場合にクリックします。

RecモードとRec機能の対応

各録画モードと録画機能は、次の表を参照してください。

	Crash Rec	Fixed Length Rec
VTR	○※ 1	○※ 1
Live	○	○

※ 1 VTR の IN/OUT が設定されていない場合のみ

- VTRモードで、IN/OUTとも設定されている場合は、VTRを制御し、指定されたIN-OUT間の録画のみ行います。
- VTRモードで、INのみ設定されている場合は、VTRを制御し、指定されたIN点からの録画を開始します（終了操作は手動で行います）。
- Rec種類毎に録画ボタンのアイコンが変化します。

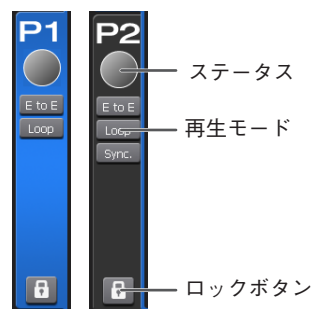
	Crash Rec	録画の終了を手動で行う必要がある場合に表示されます。
	Fixed Length Rec	固定長録画を行う場合に表示されます。
	In-Out Rec	IN 点、OUT 点が設定されている場合に表示されます。

Full Display — ClipPlayer

クリップの再生に関する設定や再生処理を行う画面です。



ステータス表示部



ステータス	録画中のクリップの録画動作状態を円グラフ状に表示します。
再生モード	E to E E to E モードの ON/OFF を表示します。E to E モードを ON にすると、ロードしたクリップが停止状態の場合や、クリップがロードされていない場合に、R1 チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで出力します。 ※ E to E モードを選択したチャンネルのビデオフォーマットは R1 チャンネルと同一である必要があります。 Loop ループ再生モードの ON/OFF を表示します。 Sync. 同期再生モードの ON/OFF を表示します。(P2 チャンネルのみ)
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。

プレビュー表示部



プレビュー	プレビュー映像を表示します。
オーディオレベル	出力オーディオレベルを表示します。
Cur	カレントタイムコードを表示します。
再生速度表示	現在の再生速度（倍率）を表示します。
Remain	残り時間をタイムコードで表示します。
スクラブバー	現在位置、Mark 位置を表示します。
Zoom ボタン	スクラブバーの表示スケール（Zoom On / Off）を切り替えます。 Zoom On クリップの IN-OUT 間を全体スケールとして表示します。設定されている IN-OUT の範囲外に移動することはできません。 Zoom Off メディア全体をフルスケールとして表示します。 通常再生操作では IN-OUT 間のみで移動可能です。設定されている IN-OUT の範囲外に移動したい場合は、CueUp 後に FF、Rew、スクラブバーのつまみ操作を行ってください。

設定ボタン部



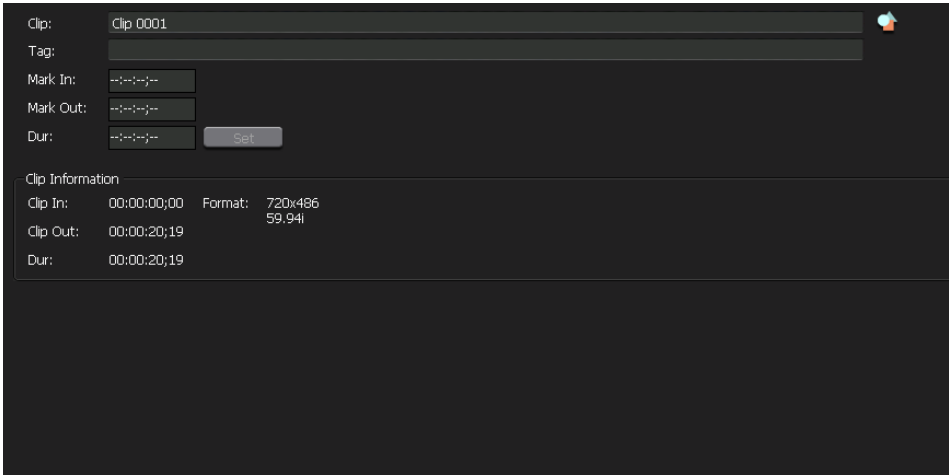
View 切替ボタン	ClipPlayer/PlaylistPlayer のモードを切り替えます。
Remote ボタン	外部機器からの Remote 制御を有効にする場合にクリックします。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部



Cue (IN)	設定されている IN 点に CueUp します。
Cue (OUT)	設定されている OUT 点に CueUp します。
先頭ボタン	ロードされたコンテンツの先頭に CueUp します。
巻き戻しボタン	クリップ再生時 直前の IN/OUT 点、またはクリップの先頭に移動します。 プレイリスト再生時 前のイベントへ移動します。
フレーム戻しボタン	ロードされたコンテンツを 1 フレーム戻します。
停止ボタン	再生を停止します。
再生ボタン	ロードされたコンテンツを再生します。
フレーム送りボタン	ロードされたコンテンツを 1 フレーム送ります。
早送りボタン	クリップ再生時 次の IN/OUT 点、またはクリップの最後尾に移動します。 プレイリスト再生時 次のイベントへ移動します。
最後ボタン	ロードされたコンテンツの最後に CueUp します。
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、タイムコード表示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、タイムコード表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットされ、Duration 表示エリアに、クリップの長さがセットされます。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします。
サブクリップ作成ボタン	設定されている IN/OUT 点の情報を元に、サブクリップを作成します。

情報表示部



Clip	ロードしたクリップの名称を表示します。
Tag	タグを入力、表示します。
Mark In	IN 点のタイムコードを表示します。
Mark Out	OUT 点のタイムコードを表示します。
Dur	IN – OUT 間の長さをタイムコードで表示します。
Set ボタン	クリップに IN/OUT を設定するためのボタンです。IN、OUT を指定後、Set ボタンでクリップの IN、OUT が更新されます。
Clip In	クリップの IN 点のタイムコードを表示します。
Clip Out	クリップの OUT 点のタイムコードを表示します。
Dur	クリップの長さをタイムコードで表示します。

プレビュー表示エリア右クリックメニュー



Set Thumbnail Frame	現在表示中のフレームをサムネイルとして使用します。
---------------------	---------------------------

Binからクリップをロードする

ドラッグ&ドロップ、Binメニュー、クリップ上でダブルクリックの操作を行うことで、Binからクリップのロードを行うことができます。

録画中クリップをロードする（追っかけ再生）

録画を開始するとBinに表示される録画クリップをロードします。

Mark IN/OUT位置の調整

Mark-in/outにCueUp後、フレーム移動またはFF/Rewボタンで、現在のIN/OUT範囲外へ移動する（クリップの長さを伸ばす）ことができます。

同期再生モード

同期再生モードでは、Binでペアリング設定を行ったクリップをロードすることができます。ペアリングされたクリップをP1チャンネルにロードすると、ペアリング先のクリップがP2チャンネルに自動ロードされます。

同期再生モードへの切り替わり時に、P1チャンネルとP2チャンネルの出力設定が異なる場合は、P2チャンネルがP1チャンネルと同じ設定になるように自動的に変更されます。

E to Eを同時に使用することはできません。

同期再生モードでは、再生制御のみ可能で、クリップのIN/OUT設定、サブクリップ作成などの編集を行うことはできません。

※ペアリングされた2つのクリップの長さが異なる場合、マスターであるP1チャンネルに合わせて再生動作を行います（P2チャンネルが短い場合は最終フレームを表示し続けます）。

Full Display – PlaylistPlayer

プレイリストの再生に関する設定や再生処理を行う画面です。イベントリスト上で任意イベントをダブルクリックすると該当イベントの先頭にCueUpします。イベントリストは、再生中のクリップが常に表示されるように自動スクロールします。Configボタンをクリックして表示される設定画面で、自動スクロールのON/OFFを設定可能（Default：ON）です。



ステータス表示部



ステータス	再生進行状況を表示します。
再生モード	E to E E to E モードの ON/OFF を表示します。E to E モードを ON にすると、ロードしたプレイリストが停止状態の場合や、プレイリストがロードされていない場合に、R1 チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで出力します。 ※ E to E モードを選択したチャンネルのビデオフォーマットは R1 チャンネルと同一である必要があります。 Loop ループ再生モードの ON/OFF を表示します。 Sync. 同期再生モードの ON/OFF を表示します。(P2 のみ)
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。

プレビュー表示部



プレビュー	プレビュー映像を表示します。
Cur	カレントタイムコードを表示します。
再生速度表示	現在の再生速度（倍率）を表示します。
Remain	残り時間をタイムコードで表示します。
スクラブバー	現在位置、Mark 位置を表示します。
Zoom ボタン	スクラブバーの表示スケール（Zoom On / Off）を切り替えます。 Zoom On クリップの IN-OUT 間を全体スケールとして表示します。設定されている IN-OUT の範囲外に移動することはできません。 Zoom Off メディア全体をフルスケールとして表示します。通常再生操作では IN-OUT 間のみで移動可能です。設定されている IN-OUT の範囲外に移動したい場合は、CueUp 後に FF、Rew、スクラブバーのつまみ操作を行ってください。

設定ボタン部



View 切替ボタン	ClipPlayer/PlaylistPlayer のモードを切り替えます。
Remote ボタン	外部機器からの Remote 制御を有効にする場合にクリックします。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部



Cue (IN)	カレントイベントの先頭フレームに CueUp します。
Cue (OUT)	カレントイベントの最終フレームに CueUp します。
前のイベントボタン	前のイベント (IN 点) に移動します。
巻き戻しボタン	ロードされたコンテンツを巻き戻します。
フレーム戻しボタン	ロードされたコンテンツを 1 フレーム戻します。
停止ボタン	再生を停止します。
再生ボタン	ロードされたコンテンツを再生します。
フレーム送りボタン	ロードされたコンテンツを 1 フレーム送ります。
早送りボタン	ロードされたコンテンツを早送りします。
次のイベントボタン	次のイベント (IN 点) に移動します。
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、TC 表示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます (編集時のみ使用可)。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、TC 表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットされ、Length 表示エリアに、クリップの長さがセットされます (編集時のみ使用可)。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします (編集時のみ使用可)。
Set ボタン	設定されている IN/OUT 点情報で IN/OUT 点を更新します (編集時のみ使用可)。

情報表示部

Playlist: 

Tag:

Length: 00:01:39;09

Current Event

Event: Clip(14)

In: 00:00:00;00

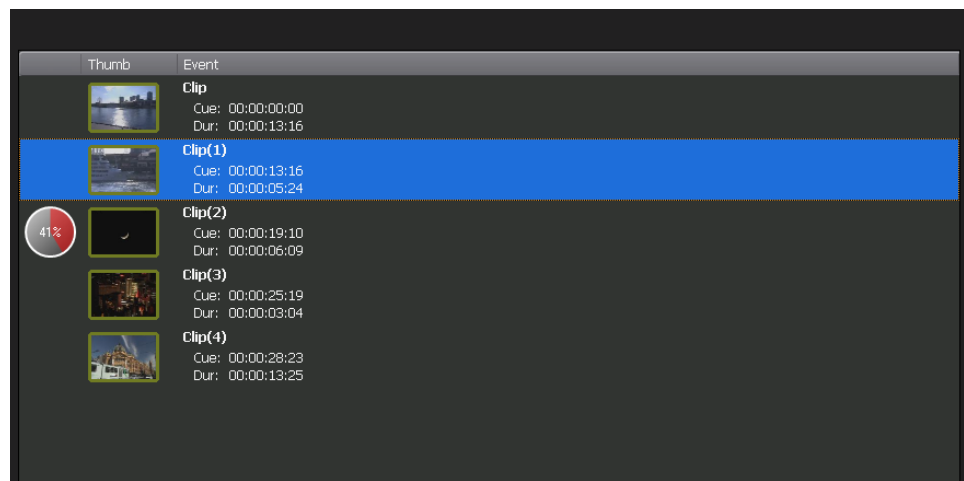
Out: 00:00:32;26

Dur: 00:00:32;26

Playlist	プレイリスト名を表示します。
Tag	タグを入力、表示します。
Length	プレイリスト全体の長さを表示します。
Event	再生中のイベント名を表示します。
In	再生中のイベントの IN 点を表示します。
Out	再生中のイベントの OUT 点を表示します。
Dur	再生中のイベントの長さを表示します。

イベントリスト表示部

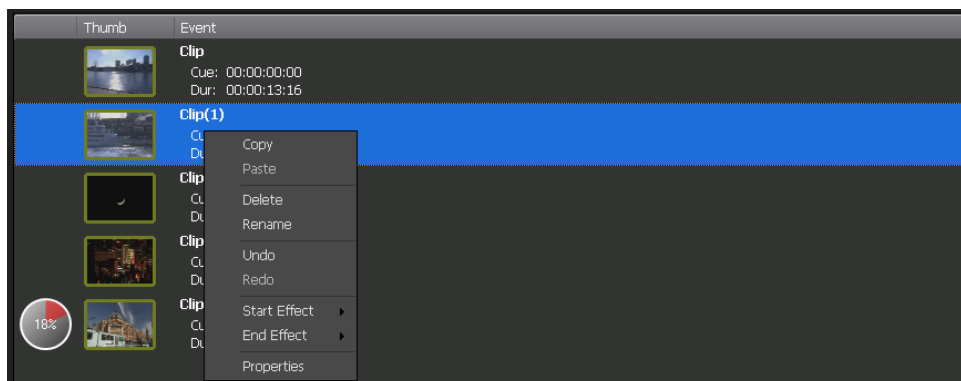
登録されているイベントの一覧と再生進行状況を表示します。



イベントリスト	プレイリストのイベントリストを表示します。 リスト上の各イベントには、サムネイル上に、Fade-in/out、End Effectなどを識別するためのマーク（アイコン）が表示されます。
---------	---

※ 最終イベントのEndEffect（Pause、Loop）が設定されている場合は、チャンネルのループ設定は無効となり、End Effectの動作に従います。

イベントリスト右クリックメニュー



Copy	選択したイベントをコピー（クリップボードにコピー）します。
Paste	クリップボードにコピーした内容をペーストします。
Delete	選択したイベントを削除します。
Rename	選択したイベントの名称を変更します。
Undo	直前の編集操作を取り消します。
Redo	取り消した編集操作をやり直します。
Start Effect	選択したイベントの Start Effect を設定します。
End Effect	選択したイベントの End Effect を設定します。
Properties	選択したイベントのプロパティを表示します。

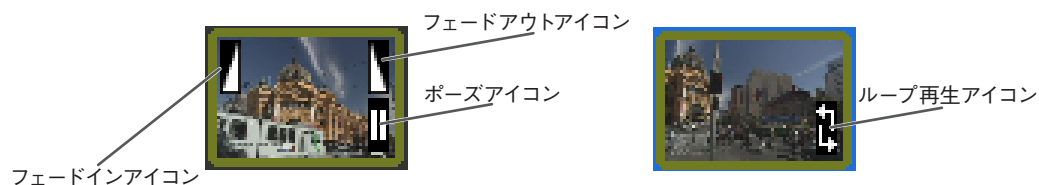
プレビュー表示エリア右クリックメニュー



Set Thumbnail Frame

現在表示中のフレームをカレントイベントのサムネイルとして使用します。

サムネイル上のアイコン



フェードインアイコン	フェードインが設定されている場合に表示されます。
フェードアウトアイコン	フェードアウトが設定されている場合に表示されます。
ポーズアイコン	イベント終了時にポーズが設定されている場合に表示されます。
ループ再生アイコン	ループ再生が設定されている場合に表示されます。

プレイリストの作成

プレイリストを作成するには、Binからクリップ、プレイリストをイベントリスト上にドラッグ&ドロップします。

リスト上で切り取り、コピー、貼り付け、削除の操作を行うことができます。

プレイリストのイベントの順番を入れ替えるには、リスト上でドラッグ&ドロップを行います。

※ひとつのプレイリストに登録可能なイベントは最大1000個です。イベント数を0に設定することはできません。

※イベントをダブルクリックすると、そのイベントにCueUpします。

同期再生モード

同期再生モードでは、Binでペアリング設定を行ったプレイリストをロードすることができます。ペアリングされたプレイリストをP1チャンネルにロードすると、ペアリング先のプレイリストがP2チャンネルに自動ロードされます。

同期再生モードへの切り替わり時に、P1チャンネルとP2チャンネルの出力設定が異なる場合は、P2チャンネルがP1チャンネルと同じ設定になるように自動的に変更されます。

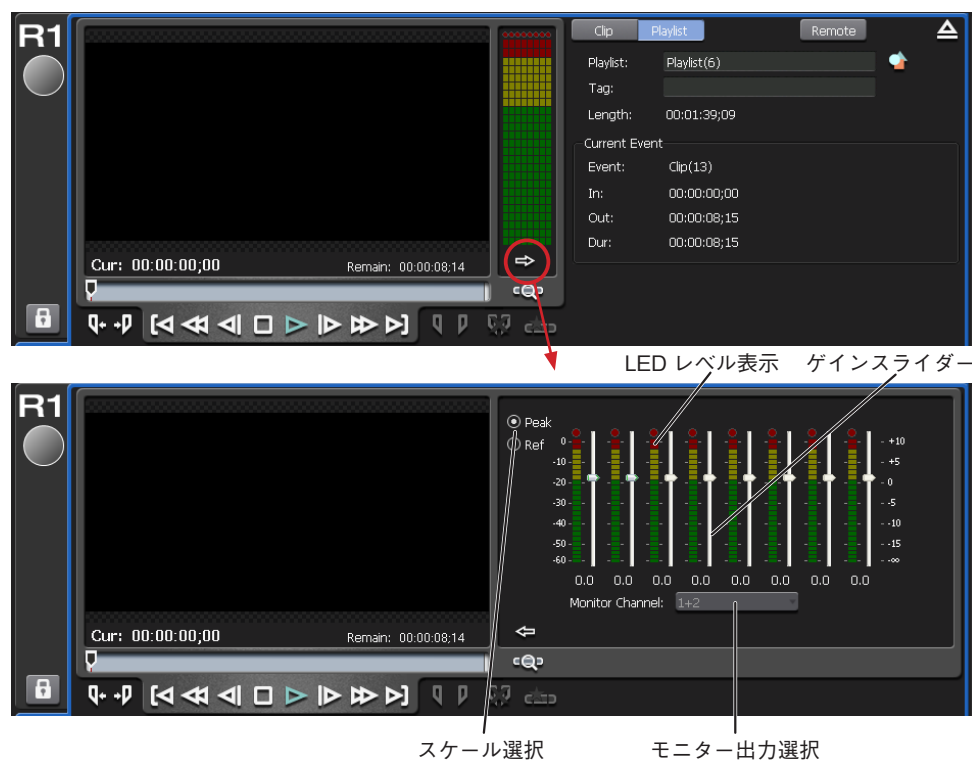
E to Eモードを同期再生モードと同時に使用することはできません。

同期再生モードでは、再生制御のみ可能で、プレイリストの編集やイベントの編集を行うことはできません。

※ペアリングされた2つのプレイリストの長さが異なる場合、マスターであるP1チャンネルに合わせて再生動作を行います（P2チャンネルが短い場合は最終フレームを表示し続けます）。

Audio Level

オーディオレベル表示部（右矢印部分）をクリックすることで展開表示します。

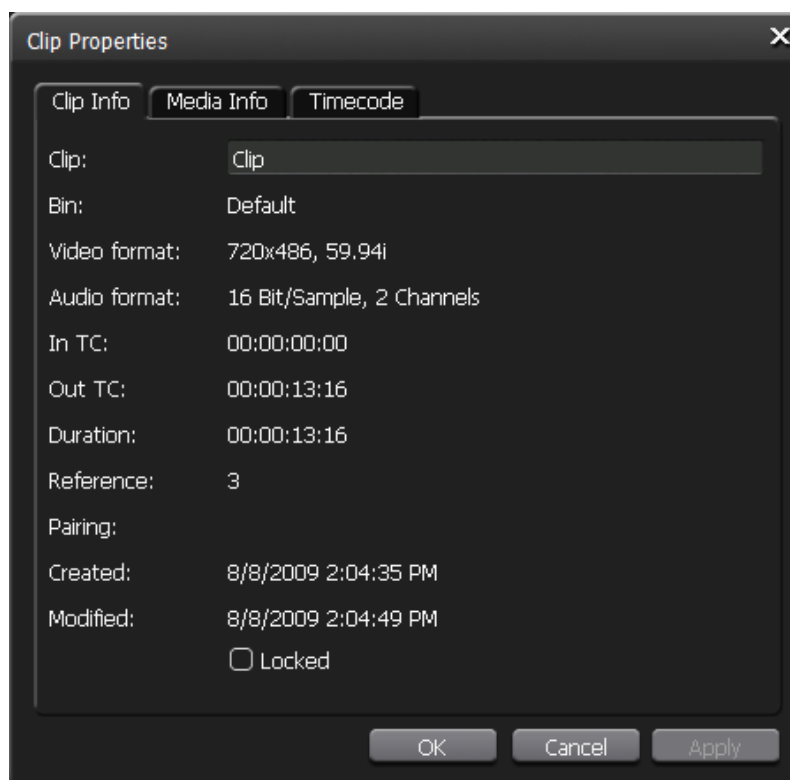


スケール選択	表示スケールを切り替えます。 PEAK0: -60dB ~ 0dB (最大値を 0dB として表示: dBFS) REF0: -40dB ~ +20dB (Config での基準レベル (ヘッドルーム) を 0dB 表示)
LED レベル表示	オーディオレベル (ピークメーター) を表示します。
ゲインスライダー	各チャンネルのゲインを調整します (R1 チャンネルでは、ANA のみ使用可能です)。 範囲: $-\infty \sim +10$ dB
モニター出力選択	ヘッドフォン端子からのモニター出力のチャンネルを選択します。 チャンネルごとに、1+2 / 3+4 / 5+6 / 7+8 から選択可能です。

プロパティ画面

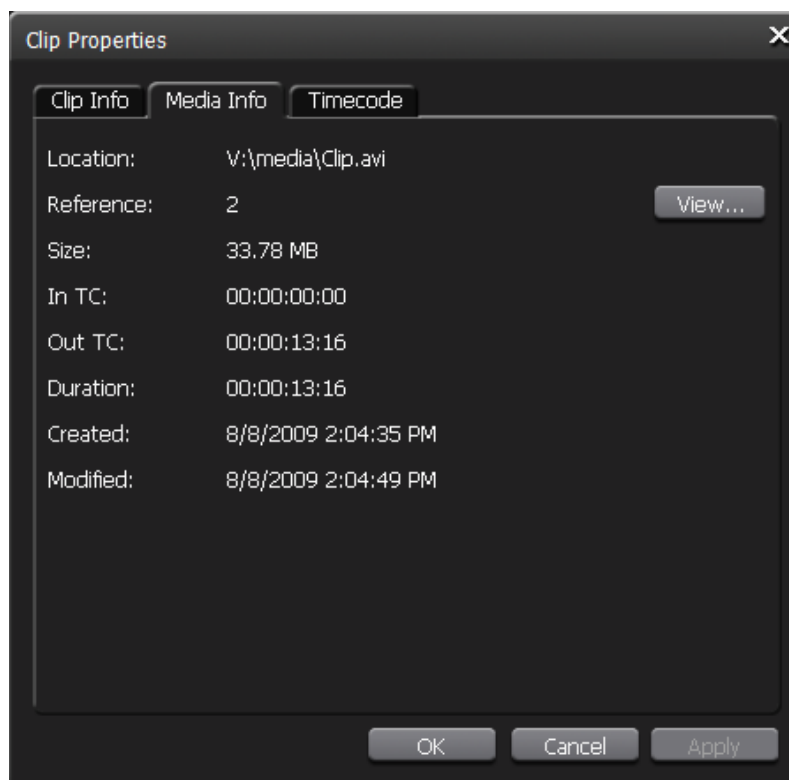
クリップのプロパティ

Clip Infoタブ



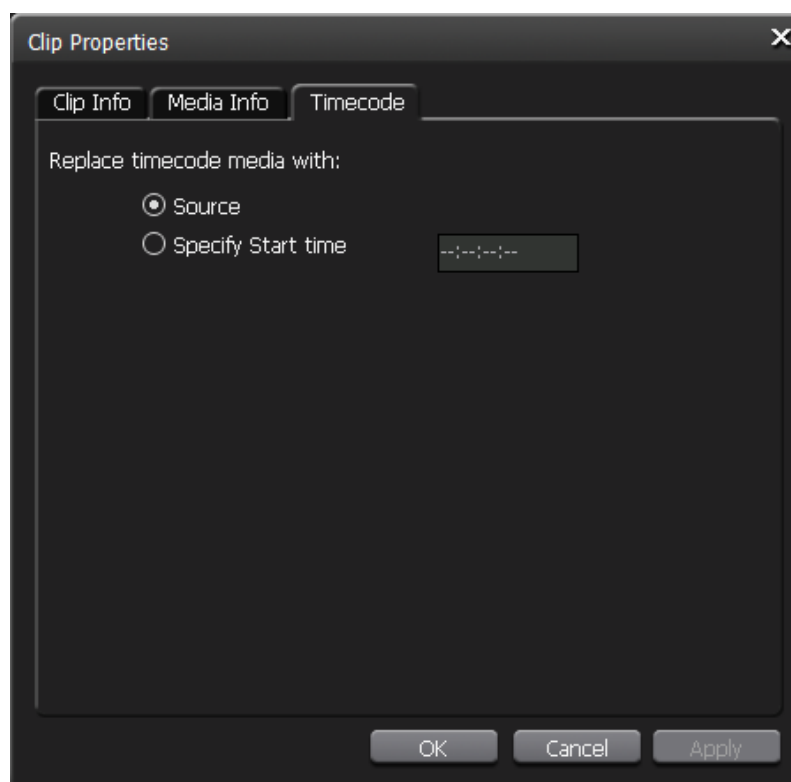
Clip	クリップ名を表示します。この画面でクリップ名を変更することもできます。
Bin	クリップが登録されている Bin フォルダ名を表示します。
Video format	ビデオ形式を表示します。
Audio format	オーディオ形式を表示します。
In TC	IN 点のタイムコードを表示します。
Out TC	OUT 点のタイムコードを表示します。
Duration	クリップの長さを表示します。
Reference	このクリップを参照しているプレイリストの数を表示します。
Pairing	このクリップにペアリング設定されているクリップ名を表示します。
Created	作成日時を表示します。
Modified	更新日時を表示します。
Locked	クリップをロックする場合にチェックします。

Media Infoタブ



Location	メディアファイルのファイル名、ファイルパスを表示します。
Reference	このメディアファイルを参照しているクリップ、プレイリストの数を表示します。View ボタンをクリックすると、このメディアファイルを参照しているクリップ、プレイリストの一覧を確認できます。
Size	メディアファイルのサイズを表示します。
In TC	IN 点のタイムコードを表示します。
Out TC	OUT 点のタイムコードを表示します。
Duration	メディアファイルの長さを表示します。
Created	作成日時を表示します。
Modified	更新日時を表示します。

Timecodeタブ



Replace timecode media
with

タイムコードの置き換えを行う場合の設定を行います。

Source

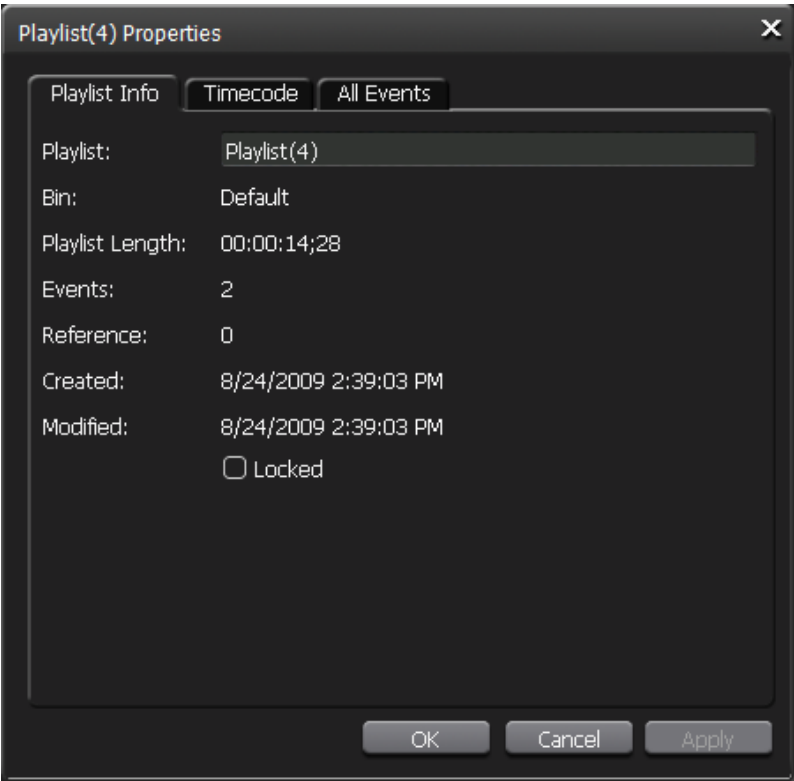
ソースのタイムコードで置き換える場合にチェックします。

Specify Start Time

開始 TC を指定して置き換える場合にチェックして、開始 TC を指定します。

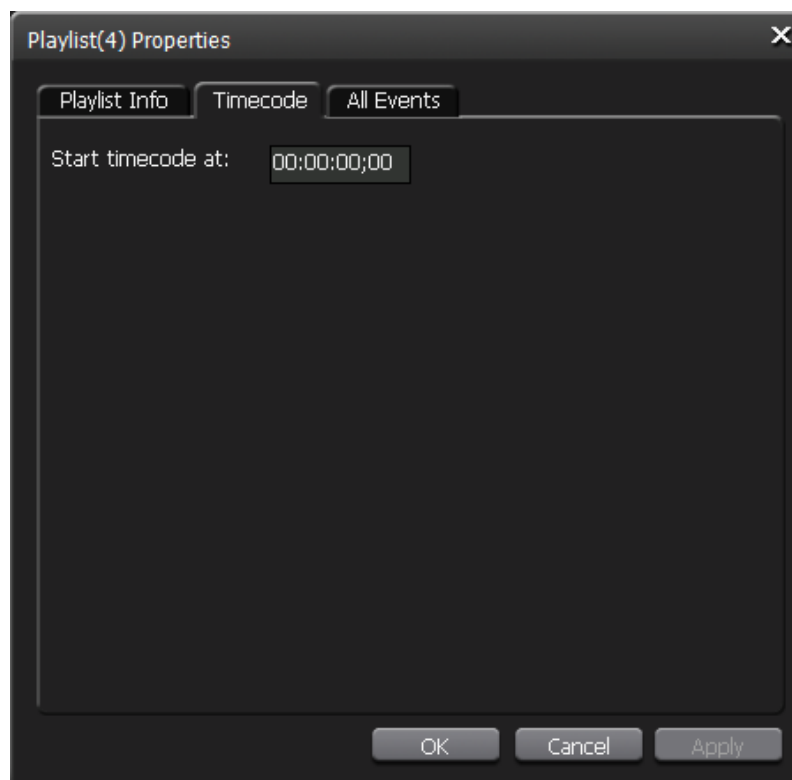
プレイリストのプロパティ

Playlist Infoタブ



Playlist	プレイリスト名を表示します。この画面でプレイリスト名を変更することもできます。
Bin	プレイリストが登録されている Bin フォルダ名を表示します。
Playlist Length	プレイリストの長さを表示します。
Events	このプレイリストに登録されているイベント数を表示します。
Reference	このプレイリストを参照しているプレイリストの数を表示します。
Created	作成日時を表示します。
Modified	更新日時を表示します。
Locked	プレイリストをロックする場合にチェックします。

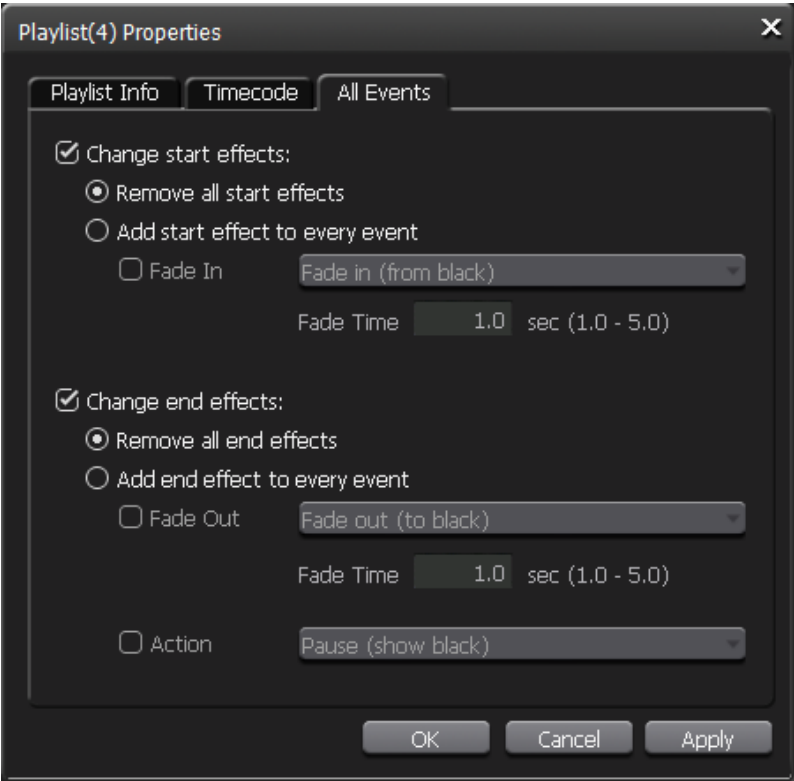
Timecodeタブ



Start timecode at	開始タイムコードを指定して置き換える場合に開始タイムコードを指定します。
-------------------	--------------------------------------

All Eventsタブ

プレイリストに登録されているすべてのイベントに共通の設定を行う画面です。

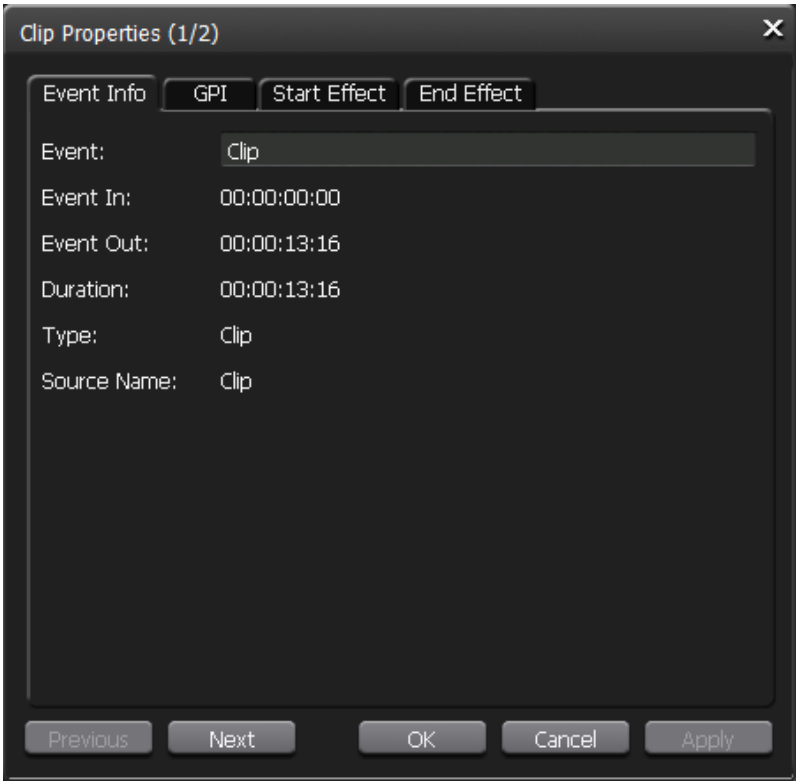


Change start effects	イベントの開始エフェクトを変更する場合にチェックします。 Remove all start effects すべてイベントの開始エフェクトを削除します。 Add start effect to every event すべてのイベントに開始エフェクトを追加します。 Fade In フェードインを追加する場合にチェックします。 • Fade in (from black)..... 黒場面からのフェードインを追加します。 • Fade in (from white)..... 白場面からのフェードインを追加します。 Fade Time フェードインの開始から完了までの時間を指定します。
----------------------	--

Change end effects	イベントの終了エフェクトを変更する場合にチェックします。 Remove all end effects すべてイベントの終了エフェクトを削除します。 Add end effect to every event すべてのイベントに終了エフェクトを追加します。 Fade Out フェードアウトを追加する場合にチェックします。 • Fade out (to black).....黒場面へのフェードアウトを追加します。 • Fade out (to white).....白場面へのフェードアウトを追加します。 Fade Time フェードアウトの開始から完了までの時間を指定します。 Action 再生終了時の動作を設定する場合にチェックします。 • Pause (show black).....黒画面を表示した状態で一時停止します。 • Pause (show white).....白画面を表示した状態で一時停止します。 • Pause (last frame).....最後のフレームを表示した状態で一時停止します。 • Pause (next event)次のイベントの先頭のフレームを表示した状態で一時停止します。 • Pause (show E to E).....R1チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで表示します。 • Loop.....選択したイベントをループ再生します。
---------------------------	---

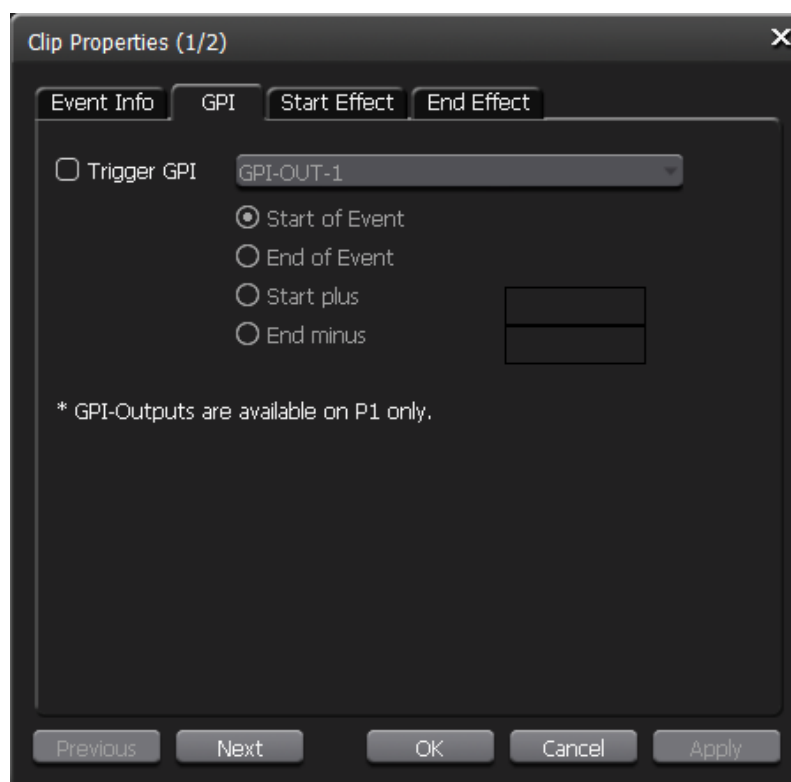
イベントのプロパティ

Event Infoタブ



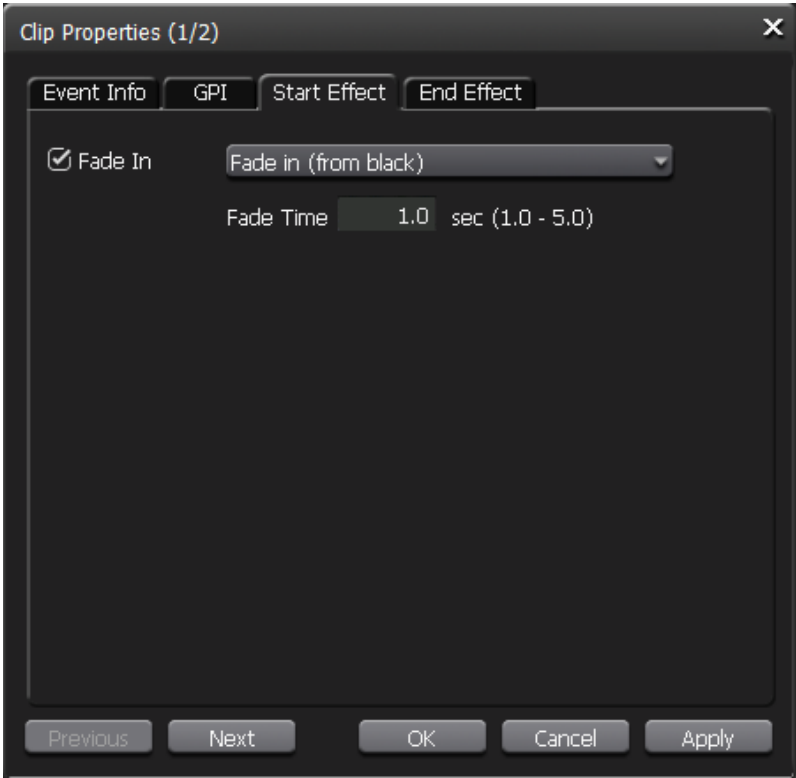
Event	イベント名を表示します。この画面でイベント名を変更することもできます。
Event In	イベントの IN 点を表示します。
Event Out	イベントの OUT 点を表示します。
Duration	イベントの長さを表示します。
Type	イベントの形式（クリップ、プレイリスト）を表示します。
Source Name	参照先のクリップ名、プレイリスト名を表示します。

GPIタブ



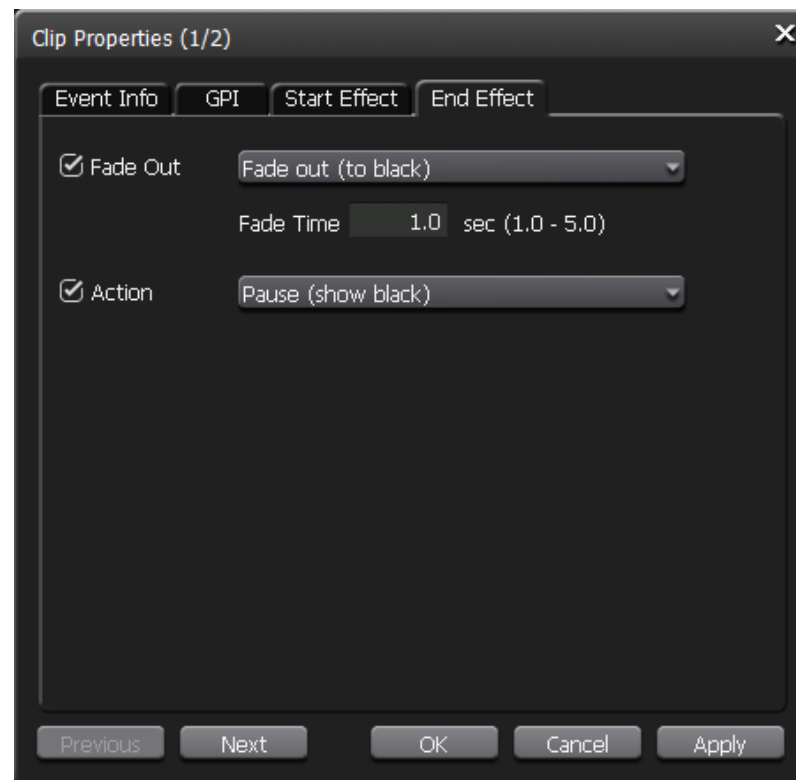
Trigger GPI	設定する GPI トリガを選択します。
Start of Event	イベントの開始をトリガに設定する場合にチェックします。
End of Event	イベントの終了をトリガに設定する場合にチェックします。
Start plus	イベントの開始から一定時間経過した地点をトリガに設定する場合にチェックして、経過時間を入力します。
End minus	イベントの終了より前の地点をトリガに設定する場合にチェックして、イベント終了までの時間を入力します。

Start Effectタブ



Fade In	選択したイベントにフェードインのエフェクトを追加する場合にチェックし、フェードインの効果を選択します。 • Fade in (from black)..... 黒画面からのフェードインを追加します。 • Fade in (from white)..... 白画面からのフェードインを追加します。
Fade Time	フェードインの開始から終了までの時間を指定します。

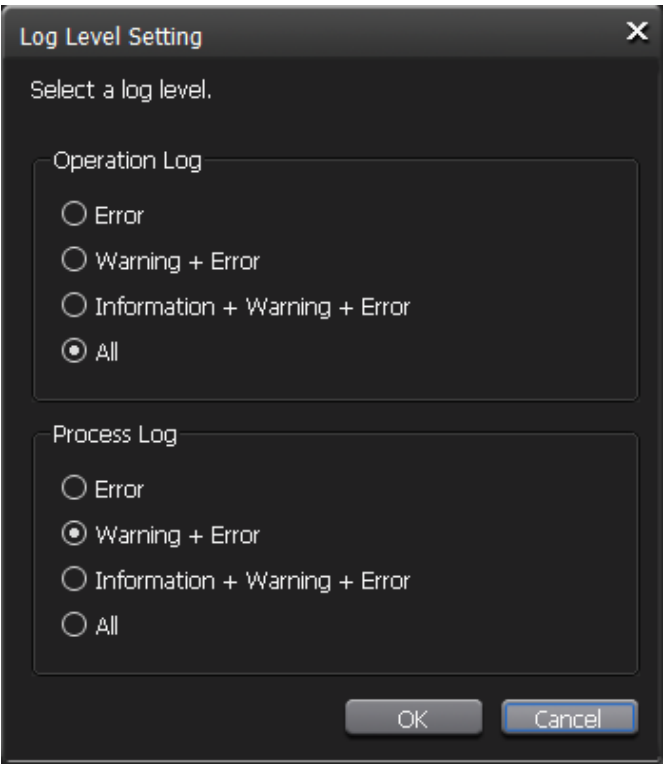
End Effectタブ



Fade Out	選択したイベントにフェードアウトのエフェクトを追加する場合にチェックし、フェードアウトの効果を選択します。 • Fade out (to black)..... 黒画面へのフェードアウトを追加します。 • Fade out (to white)..... 白画面へのフェードアウトを追加します。
Fade Time	フェードアウトの開始から終了までの時間を指定します。
Action	イベント終了時の動作を選択します。 • Pause (show black)..... 黒画面を表示した状態で一時停止します。 • Pause (show white)..... 白画面を表示した状態で一時停止します。 • Pause (last frame) 最後のフレームを表示した状態で一時停止します。 • Pause (next event) 次のイベントの先頭のフレームを表示した状態で一時停止とします。 • Pause (show EtoE)..... R1チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで表示します。 • Loop..... 選択したイベントをループ再生します。

ログレベル設定画面

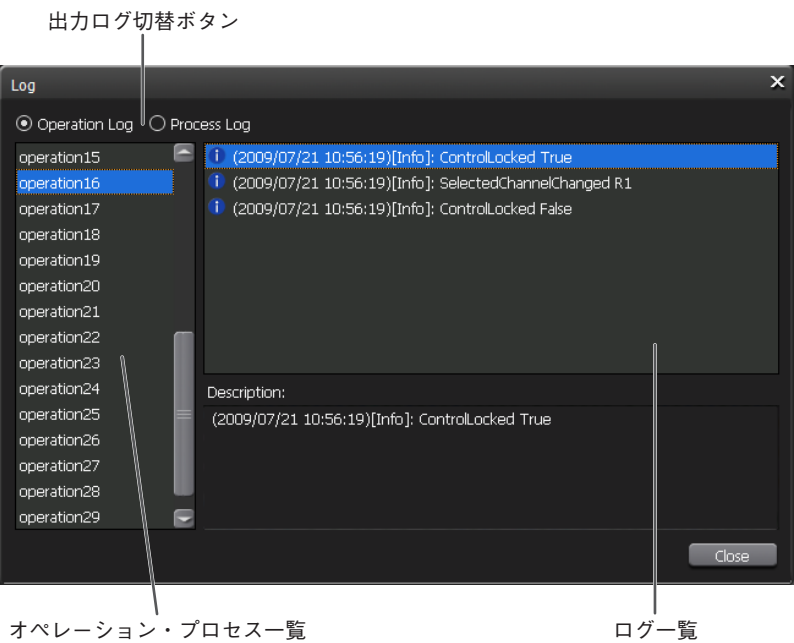
出力するログレベルを設定します。



Operation Log	出力するオペレーションログの種類を選択します。 Error エラーのみを出力します。 Warning + Error 警告およびエラーを出力します。 Information + Warning + Error 情報、警告、エラーを出力します。 All すべてのログを出力します。
Process Log	出力するプロセスログの種類を選択します。 Error エラーのみを出力します。 Warning + Error 警告およびエラーを出力します。 Information + Warning + Error 情報、警告、エラーを出力します。 All すべてのログを出力します。

ログ画面

ログを表示します。



出力ログ切替ボタン	表示するログをオペレーションログ、プロセスログから選択します。
オペレーション・プロセス一覧	オペレーション、プロセスの一覧を表示します。
ログ一覧	ログの一覧を表示します。
Description	選択したログの説明を表示します。

APPENDIX

T2 ハードウェア仕様

PC インターフェイス	USB		USB2.0 x 2（前面） x 6（背面）
	IEEE1394		IEEE1394a x 1（前面） x 1（背面） ※バスパワー供給は 12V 前後合計 1 A まで。
	PS/2		ミニ DIN 6 ピン x 2
	ディスプレイ		アナログ RGB D-SUB15 ピン x 1
	シリアル		RS232C D-SUB9 ピン x 1（未使用）
	LAN		RJ-45 ネットワークコネクタ x 2 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
	サウンド		ステレオミニジャック x 6（未使用）
リムーバブルメディア			DVD-ROM x 1
			2.5 インチリムーバブルドライブベイ x 1 (RAID/SSD モデル)
映像信号	入力	SDI	1 系統 BNC x 2（アクティブスルー x 1）
		DVI-I	1 系統 DVI-I x 1 ※アナログ部分は YPbPr 用（DVI-D は HDCP 非対応）
		コンポジット	1 系統 BNC x 1
	出力	SDI	2 系統 BNC x 2
		DVI-I	2 系統 ※アナログ部分は RGB/YPbPr 兼用
		コンポジット	2 系統 BNC x 2
		モニタ	コンポジット 2 系統 BNC x 2
音声信号	入力	バランスドオーディオ	1 系統 XLR-3-31 x 2 24dBu まで
		デジタルオーディオ	1 系統 AES/EBU BNC x 1
	出力	バランスドオーディオ	2 系統 XLR-3-32 x 4
		デジタルオーディオ	1 系統 AES/EBU 2 系統 BNC x 2
		ヘッドフォン	ステレオジャック x 1
		モニタ用ライン	ステレオミニジャック x 1
	タイムコード	入力	LTC
出力		LTC	2 系統 BNC x 2
同期信号入力			HD3 値、BB 兼用 1 系統 BNC x 2（スルーアウト x 1）
リモート	GPI 入出力		D-SUB15 ピン x 1 6 入力 6 出力ピン
	RS422		3 系統 D-SUB9 ピン x 3（各 R1、P1、P2 チャンネルに対応）
電源			AC 100V - 240V, 50/60Hz
消費電流			2.5A - 1.1A
外形寸法			430（W） x 132（H） x 550.8（D）（ゴム足・突起物除く）
重量			約 15kgf
動作周囲温度			+5℃～+35℃
動作周囲湿度			10%～80%（結露なきこと）

解像度一覧

プロファイル	ロード可能なフォーマット	出力可能 ビデオポート	PC 系変換モード 有効時		モニタ 出力	同期可能な R1 入力、 REF 入力信号
			DVI-D	DVI-A (RGB)		
720 × 486 59.94i	720 × 486 59.94i 720 × 480 59.94i (DVD) 720 × 480 59.94i (DV)	SDI Component Composite	×	×	NTSC	720 × 480 59.94i
720 × 576 50i	720 × 576 50i (DV) 720 × 576 50i (DVD)	SDI Component Composite	×	×	PAL	720 × 576 50i
1920 × 1080 59.94i	1920 × 1080 59.94i 1440 × 1080 59.94i 1280 × 1080 59.94i	SDI Component DVI-D ※ 1	PC	PC	NTSC	720 × 480 59.94i, 1920 × 1080 59.94i
1920 × 1080 50i	1920 × 1080 50i 1440 × 1080 50i	SDI Component DVI-D ※ 2	PC	PC	PAL	720 × 576 50i, 1920 × 1080 50i
1920 × 1080 24psf	1920 × 1080 24p 1440 × 1080 24p	SDI Component DVI-D(24p)	PC	PC	×	1920 × 1080 24psf (REFin のみ)
1920 × 1080 23.98psf	1920 × 1080 23.98p 1440 × 1080 23.98p 1280 × 1080 23.98p	SDI Component DVI-D (23.98p)	PC	PC	×	1920 × 1080 23.98psf (REFin のみ)
1920 × 1080 24p	1920 × 1080 24p 1440 × 1080 24p	SDI Component DVI-D	PC	PC	×	1920 × 1080 24p (REFin のみ)
1920 × 1080 23.98p	1920 × 1080 23.98p 1440 × 1080 23.98p 1280 × 1080 23.98p	SDI Component DVI-D	PC	PC	×	1920 × 1080 23.98p (REFin のみ)
1280 × 720 59.94p	1280 × 720 59.94p 960 × 720 59.94p	SDI Component DVI-D	PC	PC	NTSC	720 × 480 59.94i ※ 3
1280 × 720 50p	1280 × 720 50p 960 × 720 50p	SDI Component DVI-D	PC	PC	PAL	720 × 576 50i ※ 3
1280 × 720 24p	960 × 720 24p	SDI Component	×	×	×	1280 × 720 24p (REFin のみ)
1280 × 720 23.98p	1280 × 720 23.98p 960 × 720 23.98p	SDI Component	×	×	×	1280 × 720 23.98p (REFin のみ)

※ 1 1920×1080 59.94p に設定可能です。

※ 2 1920×1080 50p に設定可能です。

※ 3 フレームペア単位で同期させるため、3値シンクには同期しません。

PC : VGA、SVGA、XGA、SXGAのいずれかに設定可能です。

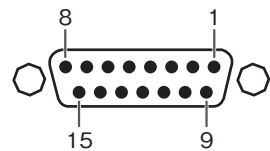
注 1 ComponentとDVI-A(RGB)は排他使用です。

注 2 PC系変換モードのDVI-I、DVI-A出力は、P1,P2チャンネルの同期は行えません。

注 3 SD解像度にて、アスペクト比が素材とプロファイルで異なる場合は、上下または左右にBar（黒枠）が付加されます。

注 4 DVI/RGB出力は、SDI/YPbPr出力とは一定の遅延を伴って出力されます。

GPI 入出力ピン



Pin	Signal	Pin	Signal
1	Output 1	9	Input 1
2	Output 2	10	Input 2
3	Output 3	11	Input 3
4	Output 4	12	Input 4
5	Output 5	13	Input 5
6	Output 6	14	Input 6
7	NC	15	NC
8	共通 Ground	SHELL	共通 Ground

注意 T2は、Output 1-6およびInput 1-6のみに対応しています。Pin 7
およびPin 15は使用しません。